



VOL.87
2025. September
TAKE FREE

MEGG

Mixture
Entertainment
Guide

Cover Artist
Special Interview

長 渕 剛

詩魂を込めた歌づくりからステージのクリエイティブ。
アリーナツアーを控えて語った“長渕の今”

切り口で楽しむ
探求鑑賞のすすめ

テーマや確固とした企画性に富んだコンサートや舞台を
解説と出演者のインタビューとともにご紹介!!

Special Interview

ソーゾーシー(春風亭昇々・瀧川鯉八・立川吉笑・玉川太福)
安 賜 勳 Johannes / 仲 道 郁 代 / 中 村 雅 俊 / 川 本 嘉 子
池 田 亮 (ゆうめい) / 名 古 屋 を ど り NEO 傾 奇 者
石 田 泰 尚 / 務 川 慧 悟 / 田 中 彩 子 / 齋 藤 華 香
松 竹 大 歌 舞 伎 / 菊 池 亮 太 × 五 条 院 凌 × Budo (BUZZPIANO)
ケルティック・クリスマス2025
〈掲載順〉

長瀬剛

MEG COVER ARTIST SPECIAL INTERVIEW

この秋、全国4都市でのアリーナツアーを控えた長瀬剛のインタビューが実現。
多くのオーディエンスを熱狂させるステージのクリエイティブ、
詩魂を込めた歌づくり、若いアーティストへの思いなど、
さまざまに語られた真摯なメッセージから、“長瀬剛の今”を届けます。

—— 全国ホールツアーが7月にフィナルを迎えましたね。

延べ7万人の方とお会いしたわけですけど、これまでにない熱狂でした。ツアータイトルにもなった「HOPE」は、怒りを源泉とした歌です。世の中みんな、怒りを内包しているという感覚がすごくあったので。みんなで拳を上げて歌うというシンプルな図式ができました。照明などの演出も、観客の熱狂に拍車をかけたと思っています。

—— ステージの演出も長瀬さんが手がけていらっしゃるのですか？

全部やります。僕は新人の頃から。もちろんスタッフの方もいらっしゃるんだけど、観客が求めるものへの認識に相違があると、歌に込めている思いが届かない場合があるんです。だから、プランナーの土台をもとにディスカッションしながら一緒に創ります。照明だけでなく、PA、モニター、大道具…各部門のチーフたちが関わり合って、演出コンセプトからズレていないか確認しながら進めていくんです。分業制じゃないんですよ、うちは。感性は分業じゃできないので。僕のチームには誇りを持っています。

—— ステージの演出は、歌のメッセージとリンクさせてプランニングされるのでしょうか。

そうですね。根幹にあるのは「この歌を一体どう届けのか」ということで、演出家やミュージシャンのエゴは一切許さない。「見せる、聴かせる、感動させる」という要素は、来てくれたお客さんがジェットコースターに乗っているように揺さぶられて飽きないようにするためにあります。そして最終的に会場から出たときに、みんなが自分の人生を肯定して、「よかったな。明日も頑張るぞ」という気持ちになってほしい。だから客の顔を見ればわかりますよね、僕たちの演出が外れてるか、間違っていないかっていうのは。

—— 長瀬さんのステージに観客が求めているのは、どんなことですか？

現実逃避ですね。「日常から解放してくれ、長瀬」って。ネガティブな要素ばかりの日常から解き放って、俺たちを気分良くさせてくれと。それでも頑張ってる生きてるってことを肯定してくれねえか、という、なんか集会のような気がします。俺もそう。そのために歌を作り、照明があり、音響がある…という感じです。僕が観客に求めるのは、「正直になろうぜ」ってこと。全部あけっぴろげに自分を解放して、何も残っていないぐらいに燃焼してこの会場を出ていってくれ、と。だから僕は、2時間以上のステージをやりきった後、楽屋に帰らないで、しばらく客を見ます。その背中に、もしも不満があったら、また出ていくときありますから。「おーい、待ってろ、やるぞ！」って(笑)。不満そうなあいつをもう一回振り向かせて、拳を上げて「よーし」つつって帰してやるぞっていう。みんな高いお金を払ってシートを獲得するわけですから、そこに嘘はなかったという生き方をしました。

—— 配信サービスが主流になった今、生で音楽を聴くことの価値が高まっていると感じています。ライブを長年続けてこられて、何か変化を感じますか？

ライブをやり始めて47年。もうすぐ50年経つと思うと、自分でもゾッとします。その変遷を見ても、基本的なライブの価値観って変わらないです。変わるはずがないんですよ、人の呼吸とか肌のぬくもりとか。声帯が震えて波動となって、歌は人の耳から心に忍び込みますから。それは当然、デジタルでは表現できない。そういった意味では、エンターテインメントの世界で演者に求められるものは厳しくなりますよね。数年で消えてしまう演者は多いです。もったいないですよ。彼らを取り巻く環境も、例えば反骨の魂とか、そういうものを良

しとして育てていくムードが希薄なんです。昔は、次の世代に芽吹いてくる反骨の芽を摘まないでおこうという空気が業界全体にありました。テレビ局にもラジオ局にも、そういうプロデューサーがたくさんいらっちゃって。今、そんな空気が薄くなっていることは、大きな損失だと思います。

—— 若いミュージシャンを育てる土壌がなくなっていること。

ミュージシャンだけじゃないですけどね。日本から優れた表現者が出にくくなるんじゃないかという危機感は、すごく感じます。表現の根本は、若いときの破壊衝動なんですよ。今までの表現が気に入らないわけだから。時代の変革期において存在感を示すのは、実は大衆芸術なんです。ロックとかフォークとか。歌の持つエネルギーとか歌う人の心の中にある考え方、そういうものが変革のきっかけとなって、その後から政治がついてくる感じがします。僕は、あんまりそういうことを考えて歌を書いてきませんでしたが。振り返るとバブルの頃に「国会議事堂にしょんべんひっかけ」なんて歌ってましたけど、ラブソングは必要だけでも、アンチテーゼの歌も絶対必要です。その代わり、石を投げたら投げられますから。それを覚悟しなきゃいけない。

—— 長瀬さんの歌からは、世の中に対する問いが感じられます。

そういうものは投影していますね。生きてくなかで、苦しみとか怒りとか、失望感とか喪失感みたいなものに遭遇したときに、そこに歌が必要で、僕自身が立ち上がるために詩を書かなきゃ、という思いになる。その作業は、やっぱり苦しいです。僕は流行歌を書く才能がなかったから、自分の実人生を掘って切り刻んで、それを詩に紡いでいくっていう手法になりました。ネタがなければ自分を傷つけろ、みたいな(笑)。作家魂とか詩魂というものが自分の中に形成されている以上は、そういう生き方になります。でも、ただ自分を壊すだけじゃないんです。それを表現に落としていきますから。詩を書く人間って、多かれ少なかれそういう生き方になるんじゃないでしょうか。



時代が変わっても、ライブの価値は変わらない。
声帯が震えて波動となって、
歌は人の耳から心に忍び込むから。

—— 秋から始まるアリーナツアーでも、長瀬さんの詩魂を体感したいです。名古屋公演は11月ですね。

名古屋の思い出はいっぱいあります。20代の頃、味噌煮込みうどんの山本屋に初めて行ったときのこと。ガラガラっと引き戸を開けて暖簾くぐると土間があって、厨房からものすごい蒸気が出てるんですよ。女将さんが自分のおふくろみたいで、すごく親しみを感じて、よく通いましたね。「お母さん、うどん硬いね」「そう、うちは硬いのよ」って。僕の心の中に染み込んでる名古屋の風景と、あの女将さんの割烹着姿と、夏でも汗だくになってうどんを作ってた店主の姿は、ずっと残ってますね。ライブはもう、一本一本が命がけです。油断のないステージをやりますんで、心して飛びかかってこい！(笑)。

©Interview / 福田明弘 ©Text / 稲葉敦子
©Photo / 安田慎一

11/15 SATURDAY・16 SUNDAY [チケット発売中]
「TSUYOSHI NAGABUCHI
7NIGHTS SPECIAL
in ARENA名古屋公演」

■会場 / ポートメッセなごや 第1展示館 ■開演 / 17:30
■料金(税込) / 全席指定¥13,000
■お問合せ / キョードー東海 TEL.052-972-7466
(月～金12:00～18:00 土10:00～13:00 日祝休み)



THEME 01

古典至上の
演芸界に切り込む
創作話芸の高座

ニシアターやライブハウス等で気軽に楽しめる演芸の公演が、初心者や若い世代に人気を集めています。その潮流を牽引するのが、落語家の春風亭昇々・瀧川鯉八、立川吉笑、演曲師の玉川太福です。4人のユニット「ソーゾーシー」では「新作こそがスタンダード」を標榜し、創作話芸を追求。毎年、新ネタを披露する全国ツアーを成功させるなど、古典が主流の演芸界で存在感を示しています。2025年ツアーの千秋楽・名古屋公演は、才気あふれる若手の話芸を体感するチャンスです。

10/26 SUNDAY [チケット発売中]
「ソーゾーシー・TOUR 2025 千秋楽 ～立川吉笑 真打昇進ツアー～」
■会場 / 中電ホール ■開演 / 13:00 ■料金(税込) / 全席指定¥4,000 U25¥2,000
■お問合せ / 東海テレビ放送事業部 TEL.052-954-1107(平日10:00～17:00)



立川吉笑 瀧川鯉八 春風亭昇々 玉川太福

ソーゾーシー Sozosi

春風亭昇々・瀧川鯉八・立川吉笑・玉川太福

自分が面白いものを作りお客さんと確認し合って、その輪が大きくなると嬉しい。

若手落語家・演曲師による話題の創作話芸ユニット、ソーゾーシー。全国12都市を回るツアー中のメンバーに、10月の名古屋での千秋楽に向けて意気込みを聞きました。

—— ユニット結成の経緯について教えてください。

昇々:新作を広めていくのに、ひとりの力だとなかなか……という思いがあったんです。それで、徒弟を組んで古典に立ち向かっていこう。それと、いろんな芸能や芸術は新たに作るものがスタンダードになるのに、落語だけ古典をやるのがスタンダードなんですよね。新作は邪道だ。みんな感覚がなんとなくあって、最初にみんなに声を掛けるときも、新作がスタンダードなんだという気持ちでやってほしいと言いました。吉笑:私の場合は、いろんな企画を思いついてやっていたことがたくさんあるけど、マンパワーが足りなくて実現できないことが多くて。例えばクラウドファンディングを活用しようとしても、ひとりだけだと満足度の高いリターンを用意できるか、とか……。ソーゾーシーのメンバーは作れる人たかなんで、コンテンツも充実させられるし、みんなやっていた方が実現できるかと。

鯉八:同じ世代で才能ある方々と一緒にできるのは魅力ですね。自分よりも面白い人がいる、こんなネタがある、ということに刺激を受けて、自分も良くなればいいなと思っています。

太福:演曲の世界に、私は笑い志望で飛び込みました。笑いでいなきゃ割り合える人たちが周りにいなかったの、このユニットで仲間ができたのは非常にありがたいですね。落語の中に混ざること演曲を知っていただく

機会にもなるし。

—— 創作の魅力は自由度の高さでしょうか？

吉笑:特に理屈はなく、自分が作りたいものを作るという行為自体に魅力があるんじゃないでしょうか。落語の場合は古典という軸があるから新作を作ること意義を求められがちですが、自分が面白いものを作ってお客さんと確認し合って、その輪が大きくなると嬉しい、という感覚です。創作のきっかけは、みんなバラバラですね。鯉八兄さんは、感情の動いた瞬間とか……。

鯉八:そういうものを一番大事にしようとしていますね。以前は僕なんの美学があって自分の中で禁じ手がいっぱいあったんですけど、最近はあまり気になくなっていて、とにかくくわえたい。ウケるのが正義だと思っています。昇々:僕はテーマを設定して、頭の中で1回作ってみるんですよ。それで、いけそうだなと思ったら作り込んでいきます。テーマにしたいのは、古典にないけど普遍性があるもの。うちの師匠(春風亭昇々)の新作で「ストレスの海」という演目がありますが、あれも当時は斬新だったけど、今はもう普遍的なテーマになっている。そういうものを常に探しています。

—— 太福さんは、「私演曲」と謳ったエッセイのような作風が人気ですね。

太福:演劇や落語ではあまり見られないような、くすぐりの感覚というか……自分が面白いと思う表現を盛り込んで作

れないかなと思っています。大好きな玉置浩二さんのコンサートに行った話とか、歌詞を演曲の節に入れたとか。

—— 全国12都市を巡るこのツアーは、名古屋で千秋楽を迎えます。

鯉八:今回のネタを披露する12回目の場ということですね。東京で12回やるのと各地を旅してやるのでは、ちょっと違いそうですね。いろんな風雪に耐えてネタもたふしくなりまから。最高の状態のものを聴いていただけたと思います。昇々:キャラや文言を変えて試行錯誤しながら続けて、最終日には「自分のネタになった」という感覚になりますからね。持ちネタってそういうものです。太福:今回、私としてはかなり実験的で「冒険するネタなので、11ヶ所回って名古屋に辿り着いたときには全く別のネタになっている可能性があるかもしれない……」やりたいことをやって、幅広いお客さまに笑ってもらえるものにできたら最高に嬉しいです。

吉笑:落語や演曲は、音楽や演劇と比べると手軽にお届けできるというフットワークの軽さを強みに、2017年頃から続けてきました。公演数も増え、個人の活動規模も広がってきた今は、ちょうど過渡期だと思っています。特に名古屋は勝負どころ。これを機に、ほかの都市にも広がっていきます。

©Interview / 福村明弘 ©Text / 稲葉敦子 ©Photo / 安田慎一

切り口で楽しむ 探求鑑賞のすすめ

あなたはエンターテインメント
さまざまな公演のテーマや嗜好性に
意外なジャンルから自身の興味と合致す
今回は、演芸・朗読劇・オ
独自の切り口で新たな創造に
テーマを少し掘り下げてから鑑賞す

をどのように選んでいますか？
着目すると知的好奇心が刺激され、
るコンテンツに出会えるかもしれません。
ペラ・クラシック音楽から、
挑戦する公演をピックアップ。
ると、新たな世界が広がりそうです。

安賜勲 An Sahoon Johannes

THEME 02

日韓交流
クリエイティブによる
傑作オペラ!!

11/29 SATURDAY
～30 SUNDAY [チケット発売中]
オペラ「ドン・ジョヴァンニ」

■会場 / 名古屋市緑文芸小劇場
■開演 / 11月29日(土) 11:00、15:00
11月30日(日) 15:00
■料金(税込) / 一般¥6,000
友の会・金庫券 ¥5,500
大学生(25歳以下) ¥3,000
小学生(以下 29日 11:00公演のみ) ¥1,000
■お問合せ / 名古屋市緑文芸小劇場
TEL.052-679-6006



日本と韓国の声楽家が共演するオペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」。愛知で活躍する実力派キャストに加え、今、世界で注目されている韓国の声楽家を地域の観客に紹介する意欲的な公演です。キーパーソンは、韓国出身の声楽家・安賜勲 Johannes。ドイツの数々の歌劇場で幅広いレパートリーを演じ、近年はニオペラやコンサートを手掛けるなど製作の手腕も発揮しています。今回の企画では演出も務め、日韓の声楽家たちの魅力を引き出しながら、名作オペラの新たな解釈に挑みます。

傑作オペラ
「ドン・ジョヴァンニ」を
モーツァルト時代の
“正しい規模”で上演。

この秋、モーツァルトの傑作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」を日韓の声楽家の共演で上演。この画期的な企画で芸術監督/演出を務めるのが、ドイツで活躍し現在は名古屋を拠点に活動するオペラ歌手・安賜勲 Johannes です。

—— 韓国は、世界の舞台上で活躍する声楽家を数多く輩出していますね。その背景について教えてください。

私がヨーロッパで活動していた頃、どの劇場にも韓国人がソリストとして出演していました。そもそも韓国人は、歌が好きな国民性なのだと思います。人口の約1/3はキリスト教徒ですから、日常的に讃美歌やゴスペルに触れ、教会音楽をきっかけにクラシック音楽やオペラに親しみ歌手になる、という人が多いのではないかと思います。個人的な見解ですが……。私自身も家族で教会に通っていたので、小さな頃から讃美歌を歌っていました。最近では芸術高校などの生徒でミュージカルを目指す人も増えましたが、彼らは、まずオペラを勉強します。オペラの発声や習得しないミュージカルはできない、という考え方が基本なんです。

—— 韓国のエンターテインメントは全般的に成熟している印象ですが、オペラ文化も広く一般に根付いていますか？

韓国は、安さんを含んに4人の韓国人声楽家が出演します。ドン・ジョヴァンニを演じるチェ・ユンギンさんはフランス音楽のスペシャリストで、モナコでもソリストとして活躍した人です。声帯から直接発音するような、人の心を動かす声が魅力。また、歌詞を明確に聴かせるしつかった発音と音楽的表現、真っ直ぐな美しい立ち姿が、ドン・ジョヴァンニを魅力的に見せてくれるはずです。ドン・ジョヴァンニはプレイボーイで悪い男ですね。彼に騙された女性たちが愚かに見えるよう、「こんなに魅力的なら騙されても仕方ない」と思わせるような演技や音楽の表現、真っ直ぐな美しい立ち姿が、ドン・ジョヴァンニを魅力的に見せてくれるはずです。ドン・ジョヴァンニはプレイボーイで悪い男ですね。彼に騙された女性たちが愚かに見えるよう、「こんなに魅力的なら騙されても仕方ない」と思わせるような演技や音楽の表現、真っ直ぐな美しい立ち姿が、ドン・ジョヴァンニを魅力的に見せてくれるはずです。ドン・ジョヴァンニはプレイボーイで悪い男ですね。彼に騙された女性たちが愚かに見えるよう、「こんなに魅力的なら騙されても仕方ない」と思わせるような演技や音楽の表現、真っ直ぐな美しい立ち姿が、ドン・ジョヴァンニを魅力的に見せてくれるはずです。

—— 今回の公演ではオペラ文化の発展に貢献したいという思いが、この作品を選びました。

—— 全曲演奏があまり行われない理由はどういったところにあるのでしょうか？

さまざまな理由があるとは思いますが、やはり1曲ごとに編成が大きく異なるというのが大きいのではないのでしょうか。これは想像ですが、主催者からすると、経済的な観点から見て効率が悪いのかもしれない。しかし、まさにその多様な編成によって構成されているからこそ、この作品の大きな魅力だと思います。特にヴァイオラ奏者にとっては、第6番が中音域の楽器のみで構成され、ヴァイオラとヴィオラ・ダ・ガンバが主役となる。「ご褒美」のような作品です。そのため、第6番だけを演奏することでも少なくありませんが、やはり全曲の中に位置づけることで一層の意味が生まれと感じています。

—— この公演ではヴァイオリンも演奏されるそうですね。

堀正文さんからのご提案もあり、第4番のソリストを務めることになりました。学生時代にヴァイオラへ転向していた。人前でヴァイオリンを弾くことはほとんどなかったため、当初は他の方をお願いしようとも考えていたの

Masatoshi Nakamura 中村雅俊

THEME 04

恋文の朗読で
紡ぐ様々な
愛の形!!

11/29 SATURDAY・30 SUNDAY [9/13(土)～チケット発売]
「シリーズ恋文 vol.15」

■会場 / 可児市文化創造センター・小劇場 ■開演 / 各日14:00 ■料金(税込) / 全席指定¥4,000 25才以下¥2,000
■お問合せ / 可児市文化創造センターインフォメーション TEL.0574-460-3050

心に秘めた想いを朗読とピアノの旋律で紡ぐ

秋田県能代市二ツ井町で開催されていた「きみまち恋文全国コンテスト」が発端となり始まった「シリーズ恋文」は、恋文に綴られた秘めた想いを俳優による朗読とピアノの即興演奏で紡ぐ。vol.15は中村雅俊と真野響子の豪華ペアが2年ぶり2回目の登場を果たす。

—— 2回目の登場となりますが、前回出演された2023

年10月の公演で今も心に残っていることはありますか？

僕はテレビドラマや映画での演技や歌の仕事は数多く経験していますが、舞台での朗読というのはそれとあまり機会がありませんでした。ですから、実はかなり緊張していましたが……。朗読といってもただ恋文を読むだけでなく、舞台袖からステージへと出ていく瞬間から演技が始まります。「恋文」を書かれた方を自分なりに想像しながら舞台と向かうんですね。「演じる」というのも通常のお芝居とはタイプが異なるんですけど、とても難しかったです。本番の舞台で真野さんが導いてくださった、新たな気付きがあったりしました。

—— 恋文を朗読する上で大切にしたいことは？

一番は「伝えたい」という想いです。舞台では、俺と真野さんの朗読に加え、映像とピアノの即興が重なり合って客席の皆さんのイマジネーションを刺激します。一人ひとりの心に異なる物語が浮かび上がり、その場でしか生まれない空気が会場を包んでくれるはずです。そうした相乗効果で、特別な時間を過ごしていただけたら幸いです。

—— 舞台でのお仕事には、どのような魅力がありますか？

後者、歌手、プレゼンなど、さまざまなお仕事をしてきていますが、どれも「表現者」という括りに入るのではありません。ですから、どのお仕事においても、心の中にあるものを人々に伝えることがとても大切であり、そこにやりがいを感じます。私が皆さんにお届け

THEME 05

恋文の朗読で
紡ぐ様々な
愛の形!!

11/29 SATURDAY・30 SUNDAY [9/13(土)～チケット発売]
「シリーズ恋文 vol.15」

■会場 / 可児市文化創造センター・小劇場 ■開演 / 各日14:00 ■料金(税込) / 全席指定¥4,000 25才以下¥2,000
■お問合せ / 可児市文化創造センターインフォメーション TEL.0574-460-3050

心に秘めた想いを朗読とピアノの旋律で紡ぐ

秋田県能代市二ツ井町で開催されていた「きみまち恋文全国コンテスト」が発端となり始まった「シリーズ恋文」は、恋文に綴られた秘めた想いを俳優による朗読とピアノの即興演奏で紡ぐ。vol.15は中村雅俊と真野響子の豪華ペアが2年ぶり2回目の登場を果たす。

—— 2回目の登場となりますが、前回出演された2023

年10月の公演で今も心に残っていることはありますか？

僕はテレビドラマや映画での演技や歌の仕事は数多く経験していますが、舞台での朗読というのはそれとあまり機会がありませんでした。ですから、実はかなり緊張していましたが……。朗読といってもただ恋文を読むだけでなく、舞台袖からステージへと出ていく瞬間から演技が始まります。「恋文」を書かれた方を自分なりに想像しながら舞台と向かうんですね。「演じる」というのも通常のお芝居とはタイプが異なるんですけど、とても難しかったです。本番の舞台で真野さんが導いてくださった、新たな気付きがあったりしました。

—— 恋文を朗読する上で大切にしたいことは？

一番は「伝えたい」という想いです。舞台では、俺と真野さんの朗読に加え、映像とピアノの即興が重なり合って客席の皆さんのイマジネーションを刺激します。一人ひとりの心に異なる物語が浮かび上がり、その場でしか生まれない空気が会場を包んでくれるはずです。そうした相乗効果で、特別な時間を過ごしていただけたら幸いです。

—— 舞台でのお仕事には、どのような魅力がありますか？

後者、歌手、プレゼンなど、さまざまなお仕事をしてきていますが、どれも「表現者」という括りに入るのではありません。ですから、どのお仕事においても、心の中にあるものを人々に伝えることがとても大切であり、そこにやりがいを感じます。私が皆さんにお届け



©Interview&Text / 向後由美 ©Photo / 中野建太

験されてきたことに重ね合わせるなどして味わっていたきたいと思います。

©Interview&Text / 向後由美 ©Photo / 中野建太



©Interview&Text / 稲葉敦子

kyuo Nakamichi 仲道郁代

THEME 03

ベートーヴェンの
音楽宇宙を
漂う!!

11/29 SATURDAY [チケット発売中] 「仲道郁代 ベートーヴェンの宇宙第4回 ～ウィーンとナポレオン～」

■会場 / サラマンカホール ■開演 / 14:00 ■料金(税込) / 全席指定 ¥4,000(サラマンカ¥3,600) A¥2,000(サラマンカ¥1,800) 学生半額(30歳まで)

■お問合せ / サラマンカホールチケットセンター TEL.058-277-1110(9:00～21:30)

今回のテーマは「ウィーンとナポレオン」

“楽聖”のスペシャリストである仲道郁代。彼女による「室内楽＋ピアノ・ソナタ」の演奏&トークでベートーヴェンの音楽宇宙を深掘する。サラマンカホールのために企画された特別な演奏会シリーズの第4弾が11月に開催。

—— 全6回シリーズの「ベートーヴェンの宇宙」もいよいよ後半に突入ですね。

以前は作品番号順にピアノ・ソナタを弾くことが多かったのですが、テーマの光を当てて作品を演奏するからこそ、聴こえてくるベートーヴェンもあるのではないのでしょうか。今回はナポレオン侵襲当時のウィーンに生きていたベートーヴェンと、彼を取り巻く人々、社会、その様子が音楽を通して多面的にお聴きいただけると思います。またナビゲーターの浦久俊彦さん(※知識が豊かで頭の中に図書館をお持ちの方です!)のお話も面白く、心と頭と両方に刺激を受けていただける公演になると思います。

—— 今回はピアノ・ソナタ「告别」やピアノ三重奏曲「大公」に縁のあるベートーヴェン生涯唯一の作曲の弟子「ルドルフ大公」も主役のひとりですね？

平民であったベートーヴェンと王の次の位という地位にあったルドルフ大公。当時一般的には親交を結ぶどころか、信頼をおくということさえ叶わない身分の違いがありますが、ルドルフ大公ははじめベートーヴェンを取り巻く貴族たちは人間ベートーヴェンの魅力、大きさを理解していたし、ベートーヴェンも自分を理解してくれる人たちの絆を大切にしていたのだと思います。ナポレオンの侵襲を受けた当時のウィーンから避難してルドルフ大公との別れ、不在、再会を描いた「告别」ソナタの中には、戦時下のベートーヴェンの想い、当時のウィーンの社会が聴こえてきます。

—— 生涯最後のピアノ・ソナタである第32番や、それまでの6作品よりも構成や内容の点で抜きん出ている最後のピアノ三重奏曲 第7番「大公」も楽しみですね。

第32番ソナタの第1楽章では運命というのについて、なぜそれが自分に課せられたのか、その問いが描かれています。それは自身の存在とは何かということの問いでもありまし、特に「ハイリゲンシュタットの遺書」以降の集大成とも言えるかもしれません。第2楽章では受容が描かれますが、その過程が段階を追って聴こえてきます。受容を経て、理解した瞬間もドラマティックに聴こえてくる。理解しながらも、神、もしくは運命を司る偉大なものとの対話、もしくは、神からの言葉を聴いているのだと思います。そして「ああそうなんだ」と納得した後、最後は「だから生きていく」「そのように生き続けること」と語っているようで、感動と共に考えさせられる作品です。一方の「大公」トリオは、「告别」ソナタや「皇帝」協奏曲が書かれた約3年後の1811年に書かれました。まさに喜びの再会を果たしたルドルフ大公へ献呈した作品です。スケールが大きく、ヴァイオリン、チェロ、ピアノの魅力もたっぷり書かれていて、弾きごたえ聴きごたえ共に格別ですね。

—— 共演者の白井圭さん(ヴァイオリン)と上野通明さん(チェロ)についても、それぞれ一言お願いします。

上野さんはこれまでご一緒にすることがあり、舞台での音楽のやりとりに充実した手応えを感じました。白井さんと初めてですが、オーケストラや室内のご経験が豊富



©Tanonko.Hidaki ©Seiji Okumura



©Kiyotaka Saito

な方ですので、どのような対話をすることができるのか今からワクワクしています。皆さまご期待ください!

©Interview&Text / 東端留也

Yoshiko Kawamoto 川本嘉子

THEME 05

バッハの
マスターピースを
全曲演奏!!

11/13 THURSDAY [チケット発売中] 「ザ・レジェンド アンサンブルシリーズ 第5回」

■会場 / 電気文化会館 サコンサートホール ■開演 / 18:30 ■料金(税込) / 全席指定 一般¥4,000 U25券¥1,000 小学生券¥500

■お問合せ / 愛知室内オーケストラ TEL.052-211-8895

ヴァイオリンとヴィオラで臨む「ブランデンブルク協奏曲」
愛知室内オーケストラ「ザ・レジェンド～アンサンブルシリーズ」第5回に、同楽団の弦楽器アドヴァイザー・川本嘉子が登場。ヴァイオリニストの堀正文・チェンバリストの中野振一郎ら豪華共演者とともに、J.S.バッハ「ブランデンブルク協奏曲」全曲を壮大なスケールで奏でる。

—— シリーズのタイトル通り、すばらしい演奏家の皆さんが出演されますが、ブランデンブルク協奏曲を選ばれた経緯は？

コロナの流行で世の中が不安に包まれていた頃、ご縁があって参加したアンサンブルで、この作品を全曲演奏する機会がありました。広く観られている作品ですが、意外にも全曲を通して演奏される機会はあるのではないのでしょうか。私自身も久しぶりの経験でしたが、全てを通して演奏することで初めて見えるものがあり、終えたときの感覚は特別なものでした。その醍醐味をぜひ愛知室内オーケストラの皆さんと味わいたいという思いがあり、この作品を選びました。

—— 全曲演奏があまり行われない理由はどういったところにあるのでしょうか？

さまざまな理由があるとは思いますが、やはり1曲ごとに編成が大きく異なるというのが大きいのではないのでしょうか。これは想像ですが、主催者からすると、経済的な観点から見て効率悪いのかもしれない。しかし、まさにその多様な編成によって構成されているからこそ、この作品の大きな魅力だと思います。特にヴァイオラ奏者にとっては、第6番が中音域の楽器のみで構成され、ヴァイオラとヴィオラ・ダ・ガンバが主役となる。「ご褒美」のような作品です。そのため、第6番だけを演奏することでも少なくありませんが、やはり全曲の中に位置づけることで一層の意味が生まれと感じています。

—— この公演ではヴァイオリンも演奏されるそうですね。

堀正文さんからのご提案もあり、第4番のソリストを務めることになりました。学生時代にヴァイオラへ転向していた。人前でヴァイオリンを弾くことはほとんどなかったため、当初は他の方をお願いしようとも考えていたの



©島崎昭子

ところ。ところが今年5月、別府アカリグチ音楽祭で久しぶりにヴァイオリンを演奏する機会があり、それが想像以上に楽しくて！ヴァイオラ奏者である私だからこそできるヴァイオリンでの表現があるのではないかと感じ、挑戦することになりました。

—— 2021年7月4日、愛知室内オーケストラのメンバーは、愛知室内オーケストラにどのような特徴がありますか？

音楽に真摯に向かい合い、自分たちの演奏に誇りを持ちながらも、常により良いものを求めて改善を重ねる——そうした姿勢をもった奏者が集まっています。立ち上げからのメンバーはもちろん、新たに加わった方々も「愛知室内オーケストラでしかできない音楽をしたい」という強い思いを持って入団されていますから、この楽団ならではの音色や表現というものがしっかりと受け継がれています。それは確固たるもので、どんなタイプの指揮者やソリストを招聘したとしても、妙に色めき立ったり、浮き足立つようなこともなく、常に自分たちの音楽を中心に据えながら共演者とアンサンブルする安定感があり、信頼感のもてる楽団だと思います。

—— 今後、挑戦したいことはありますか？

室内オーケストラは地元密着型の楽団が多いのですが、各地にある楽団と交流することができたら、これまでに新しいこと挑戦し続ける姿勢を大切にしていきたいです。

©Interview&Text / 向後由美

中京テレビクリエイション

TEL.052-588-4477 (中京テレビクリエイション)

https://cte.jp/



10/24 FRIDAY ~26 SUNDAY 舞台「モンゴル・ハーン」

チケット発売中

◎出演／ヒロー・ハート ◎脚本／ハブール・ハグヴァレン ◎プロデューサー／バイラ・ペラ ◎出演／バイラ・ペラ



演劇の本場ロンドンを熱狂させた、
モンゴルの壮大な物語ついに日本初上陸

2022年に本国モンゴル国内にて180回以上のロングラン公演を上演し、10万5千人を動員した舞台『The Mongol Khan (モンゴル・ハーン)』。古代モンゴル帝国の栄華と謎に満ちた3000年の歴史を背景に、愛と野望、裏切りと復讐、そして王位継承をめぐる壮大な戦いが繰り広げられる歴史ドラマは、その後ロンドン・ウエストエンド(約3万人動員)、シンガポールのマリーナ・ベイ・サンズシアター(約3万人動員)でも上演され、高い評価を受けました。50名を超えるパフォーマーが織りなす物語は、伝統と革新が融合した舞台美術、モンゴルの伝統楽器や歌唱を用いた歌と生演奏のオリジナル音楽、ダイナミックなダンス、そしてパペットを使用した演出などを駆使して、観客の想像を超えた華やかでスケールの大きなスペクタクル作品を乞うご期待。



かつてない劇場体験の様子はこちら！

■会場／愛知県芸術劇場大ホール ■開演／10月24日(金)18:00 10月25日(土)・26日(日)11:30、16:30
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥18,000 ¥S¥14,000 ¥A¥10,000 ¥B¥8,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／533-431 ■Lコード／41523 ※未就学児入場不可

MANY DAYS ディズニー・オン・クラシック まほうの夜の音楽会 2025

チケット発売中

「ディズニー・オン・クラシック」は、ディズニー・アニメーションや映画、音楽パークなどのテーマ、オケストラとヴォーカルの生演奏でお楽しみする、日本最大規模のオケストラ・コンサート・ツアー。歌やパフォーマンス、スクリーンの映像、そしてステージを彩る照明演出とともに、観て聴いて心で感じる「音楽体験」をお楽しみください。

開演日◎10/11(土)・12(日)
◎12/13(土)・14(日)

■会場／愛知県芸術劇場大ホール ■開演／土曜日18:00 日曜日14:00
■料金(税込)／SV¥9,800 AV¥5,500 BV¥7,500 SV¥13,500 半生¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／110月公演)300-622 (12月公演)300-623
■Lコード／41679 ※未就学児入場不可

10/31 FRIDAY ~11/2 SUNDAY ミュージカル『新テニスの王子様』The Fifth Stage

チケット発売中

■原作／許斐 剛『新テニスの王子様』(集英社『ジャンプSQ』連載)
■脚本・演出／上島寛夫
■作詞／三ツ矢雄二
■音楽／兼松 崇
■振付／上島寛夫、井餘田修
■出演／今牧輝琉(越前リョーマ) ほか



■会場／土岐市文化プラザ サントール ■開演／10月31日(金)18:00 11月1日(土)12:30、17:30 11月2日(日)12:30
■料金(税込)／SV¥9,500 AV¥7,500 BV¥9,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／534-671 ■Lコード／43005 ※未就学児入場不可

第43回 名古屋クラシックフェスティバル

◎小学生～18歳の皆様をご招待！

※対象公演や詳細、お申込みは右記、二次元コードより▶

9/26 FRIDAY チョン・ミンファン 指揮 ミラノ・スカラ座 フィルハーモニー管弦楽団 藤田真央 ピアノ

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン：ピアノ独奏 第4番 長調 op.58、チャイコフスキー：交響曲 第6番 短調 op.74(1部)



自由奔放かつ緻密な計算で世界中を席するピアニスト藤田真央が、クラシックフェスティバル初登場！ミラノ・スカラ座の音楽監督に就任するチョン・ミンファンとの奇跡の一夜をお逃しください！

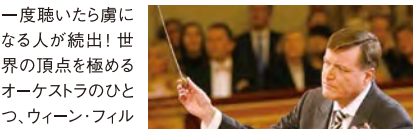
◎小学生～18歳の皆様をご招待！

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥28,000 AV¥25,000 BV¥19,000
C¥17,500(完売) D¥15,500(完売) E¥13,500(完売)
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／295-792 ※未就学児入場不可

11/6 THURSDAY ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団 クリスティアン・ティーマン 指揮 ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団

チケット発売中

◎曲目／シューマン：交響曲 第3番 変長調 op.97「ライプ」、ブラームス：交響曲 第4番 短調 op.98



一度聴いたら虜になる人が続出！世界の頂点を極めるオケストラのひとつ、ウィーン・フィルと、ドイツ・オーストリア系の古典派を得意とする巨匠ティーマンによる、まさにドイツ王道、究極のプログラム。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥W¥47,000 AV¥42,000 BV¥37,000
C¥27,500(完売) D¥25,500(完売) E¥23,500(完売)
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／295-793 ※未就学児入場不可

'26 1/18 SUNDAY ウクライナ国立歌劇場 オペラ「アイダ」

チケット発売中

◎出演／ヴェルディ：歌劇「アイダ」(全4幕 イタリア語上演 日本語字幕付き)



イタリア・オペラの最高峰！サッカリの応援曲という快挙で、ショパンの生誕祝いともいわれるプレハッチ・オペラ初心者にむかひやすい物語を舞台とした豪華絢爛スペクタクルドラマティック純愛ドラマ。

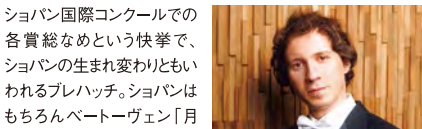
◎小学生～18歳の皆様をご招待！

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥20,000 AV¥18,000
BV¥14,000 CV¥9,000 DV¥6,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／295-794 ※未就学児入場不可

'26 1/23 FRIDAY ラファウ・ブレハッチ ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ショパン：舟歌、バード 第3番、マズルカ op.50、スケルツォ 第3番、ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番「月光」、シューベルト：即興曲 op.90



ショパン国際コンクールでの各賞総なめという快挙で、ショパンの生誕祝いともいわれるプレハッチ・オペラ初心者にむかひやすい物語を舞台とした豪華絢爛スペクタクルドラマティック純愛ドラマ。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥9,000 AV¥8,000
BV¥7,000 CV¥6,000 DV¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤ ■Pコード／295-795 ※未就学児入場不可

東海テレビ

TEL.052-954-1107 (平日10:00～17:00)

https://www.tokai-tv.com/



11/15 SATURDAY 田中彩子 ソプラノ・リサイタル コロラトゥーラ・ファンタジー

チケット発売中

◎曲目／バザール：クララ・ラカン・ワラ、オッフェンバック：ロシアのメロディ (ホフマン物語)より、ロランソンの女王、クララ・ラカン・ワラの音楽

毎年、様々なテーマでコロラトゥーラの音色を楽しませてくれる田中彩子の今年のツアーテーマは、「コロラトゥーラ・ファンタジー」。子どもの頃、ファンタジーの物語が大好きだったという田中がその夢の世界を想像させてくれるようなプログラムを演出。魔法のように心ときめき瞬間をお楽しみください。

■会場／豊田市コンサートホール ■開演／15:00
■料金(税込)／全席指定 ¥6,000
■Pコード／535-890 ■Lコード／41511
■チケット取扱い／下記①②③④⑤
※未就学児入場不可

10/17 FRIDAY 究極の室内楽 辻井伸行&ARKソロイスツ

チケット発売中

◎出演／辻井伸行、三浦文彰、セルゲイ・カリコフ、高木綾子、松浦奈久、直江智沙子、鈴木康浩、瀧本麻衣子、ユンジン、清水詩織、ヨナタン・ローゼマン、大槻 健

辻井伸行、三浦文彰をリーダーに迎え、世界でもトップクラスの音楽仲間が集結し、室内楽の名曲を奏でるまさに「究極で贅沢な」コンサート。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥12,000 AV¥10,000 BV¥8,000 U25¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦⑧ ※未就学児入場不可

10/26 SUNDAY シプリアン・カツァリス ピアノ・リサイタル

チケット発売中

◎曲目／ショパン：英雄ポロネーズ、軍隊ポロネーズ、マズルカ、リスト：ハンガリー狂詩曲 ほか

これまで何回もスーパー・クラシックに登場し、その華麗なテクニックと抒情性豊かな演奏でこれぞ巨匠のピアニズムともいふべきものを披露してきたカツァリス。12年ぶりにこのシリーズに登場して演奏するのは、彼の十八番ともいえる、リストとショパン。2025年は5年に一度のショパン国際ピアノコンクールの年で、この10月には新たなスターが誕生するかもしれません。過去にこのコンクールの審査員を務め、ショパン演奏のCDがショパン協会賞を獲得しているカツァリスがその真骨頂をお届けします。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／13:30
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥7,000 AV¥6,000 BV¥5,000 U25¥2,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥⑦⑧
■Pコード／284-698 ■Lコード／41417
※未就学児入場不可

11/13 THURSDAY 務川慧悟 ピアノ・リサイタル 2025 ～革新のベートーヴェン～

チケット発売中

◎曲目／ベートーヴェン：ピアノソナタ 第14番「月光」、第28番、第32番、シューマン：花の曲 変ニ長調 ほか

満を持しての愛知県芸術劇場コンサートホール初リサイタル。テーマは「革新のベートーヴェン」。務川いわく、「ベートーヴェンの音楽は古典派に属することから「厳格な」音楽というイメージを持たれる向きも多いように思いますが、同時に彼は音楽の中で様々な変革と挑戦を行った、真の「革新者」でもあります」と、新たな響きを追及した「月光ソナタ」から、特別で宇宙的な最後のソナタ第32番まで、務川ワールドをお楽しみください。地元愛知県出身の務川のコンサートホール初リサイタルは、地元ファンとして聴き逃さない！

◎P16にて「務川慧悟インタビュー」掲載

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥S¥6,000 AV¥5,000
■チケット取扱い／下記①②③④⑤⑥ ※未就学児入場不可

10/8 WEDNESDAY フォレストコンサート in 刈谷

チケット発売中

◎出演(予定)／澤田 薫、横山慎吾、竹内直紀、山本将生、内海万里子、吉田和夏、池田史花、三宅里菜、上沼純子、財木麗子、吉田明未、石川和男(ピアノ)、大杉光恵(ピアノ)

全員が音楽大学および大学院にて研鑽を積んだ優れた音楽家たちである混声コーラスグループ「フォレスタ」。彼らによる恒例のコンサートが今年も開催されます。童謡、唱歌、抒情歌、歌謡曲、オペラ曲など幅広いジャンルの名曲をお届けします。お楽しみに。

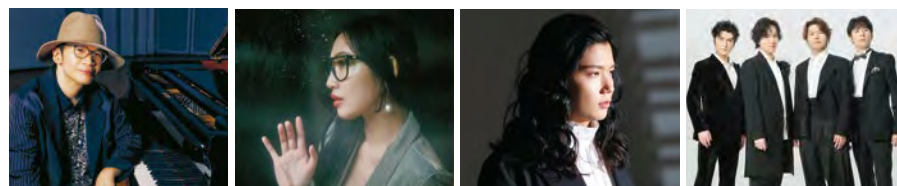


■会場／刈谷市総合文化センター 大ホール ■開演／13:30
■料金(税込)／全席指定 ¥6,600 ■チケット取扱い／下記①③④⑤⑥⑦
■Pコード／298-049 ■Lコード／43349 ※未就学児入場不可

10/25 SATURDAY BUZZ PIANO ～3台生音協奏会～

チケット発売中

◎出演／菊池亮太、五条院凌、Budo ◎スペシャルゲスト／REAL TRAUMA



YouTubeやSNSなどで活躍する注目ピアニストたちによるコンサートシリーズ「BUZZ PIANO」。今回は個性際立つピアニスト3名が、豪華3台ピアノで初共演。演奏テーマは音で聴きたい動画再生100万回超えソング。クラシックからPOPSまで、ジャンルにとらわれず、それぞれの動画で話題になった名曲を本人たちが再現＆コラボ！さらに、スペシャルゲストには、本格オペラで話題沸騰の男性4人組オケカルグループ「REAL TRAUMA」が出演。BUZZ PIANO×オペラの新境地コラボも見どころです。

◎P17にて出演者インタビュー掲載

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／17:00 ■料金(税込)／全席指定 ¥7,700
■チケット取扱い／下記①③④⑤ ※3歳以下入場不可

10/26 SUNDAY ソーゾーシーTOUR 2025 千秋楽 ～立川吉笑 真打昇進ツアー～

チケット発売中

◎出演者／ソーシー(奇風界昇々、瀧川鯉八、玉川太福(師匠：立川みね子)、立川吉笑)

落語って楽しい、演曲ってこんなに面白いの？と体感してもらえるユニット「ソーシー」。新作を心から愛する人気実力派4人組(落語の昇々、鯉八、吉笑に浪曲の太福)が、今年も全国を回ります。何と名古屋千秋楽。立川吉笑の祝・真打昇進ツアーで、バチバチの新作最前線ぜひライブで感じてください。ネタおろしツアーの新作が千秋楽までにどんな変化をどげるのか？そことも楽しみのひとつ。

◎P03にて「ソーシー・インタビュー」掲載

■会場／中電ホール ■開演／13:00
■料金(税込)／全席指定 ¥4,000 U25¥2,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤⑥⑦
■Pコード／534-641 ■Lコード／43001
※未就学児入場不可



11/15 SATURDAY 第2回 モリジャズ by MARUWA

入場無料

◎出演／KEIKO LEE "DUO" with 野力奏一、花*花、宮坂俊行

Acoustic Trio Guest 伊藤天香、Qajiff、石原慎之助 with ミノワ・ソコヴィア、横原由梨子 Trio

昨年大盛況の野外音楽フェスが、モリコロパークで今年も開催！自然あふれるモリコロパークの芝生に寝転び、心地よい音楽に身をゆだねる至福の時間をお届けします。出演は、国内外で活躍するシンガー・キーコリーや花*花など6組の豪華アーティスト。グルメを楽しめるキッチンカーも多数出店。家族や友人と1日ゆったり過ごせる秋の特別な一日を、ぜひ体感してください。入場無料。

■会場／愛・地球博記念公園(モリコロパーク) 大芝生広場 野外ステージ
■開演／11:00
■料金／入場無料

CBCテレビ

TEL.052-241-8118 (平日10:00～18:00) 〓お問合せ

https://hicbc.com/event/ 〓チケット購入OK

※出演者・プログラム等変更になる可能性があります。予めご了承ください。



◎5ちゃん大人塾

オトナによる、オトナのための「大人塾」を開催! CBCの出演者たちが自らの人生観を語り尽くす! オトナ流「明日を楽しむ生き方」伝授します!

CBCテレビに縁のある豪華講師陣が「大人塾」を開催! 休日の午後、CBCホールにて全6回開催いたします。これを聞けば、明日がきっと楽しくなるはず!!

■料金(税込)/6回受講¥20,000 ペア割チケット(2枚)¥30,000 ■チケット取扱い/下記① ※事務手数料¥2,000含む ※別途システム利用料・発券手数料が必要です ※単回での受講は受け付けておりません ※その他の注意事項はCBCテレビホームページからご確認ください

9/23 TUESDAY HOLIDAY 石井亮次 スマイルコミュニケーション術

■チケット発売中

CBCの情報番組「ゴッソマ」で長年MCを務めている石井亮次が、独自に編み出した会話術を紹介。自分も相手も思わず笑顔になる「スマイルコミュニケーション」とは!?



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 16:30
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

10/11 SATURDAY 山口真由 「失敗」と「挫折」から学ぶ

■チケット発売中

東大、財務省、法律家、ハーバード留学、NY州弁護士と、はたから見れば華麗な経歴に彩られているように見える山口真由だが、その裏側には数々の「失敗」と「挫折」があった。



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 14:00
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

10/25 SATURDAY てい先生 きっと楽しくなる「子育て」&「孫育て」

■チケット発売中

SNSの総フォロワー数が200万人を超える現役保育士のてい先生が、「子育て」「孫育て」の極意を伝授! 現役保育士にしか語れない「令和の子どものリアルな本音とは!?



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 14:00
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

11/8 SATURDAY 田中ウルヴェ京 トップアスリートに学ぶ心の整え方

■チケット発売中

五輪でメダル獲得後、コーチ業を経て、心理学を学び博士号取得。スポーツ心理学者としてアスリートや経営者、医師らに行うメンタルトレーニングを伝授します。今日からできる心の整え方を楽しく学びましょう!



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 14:00
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

11/24 MONDAY HOLIDAY 大石邦彦 現場に生きる ～私が聞いた3万人の声～

■チケット発売中

「コロナワクチンの実態」に迫るなど、ひたすら現場取材を続ける大石邦彦。これまでの取材歴30年で出会った人は3万人超! 取材対象者ど「心を通わせる方法」はただ一つ…。



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 14:00
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

12/7 SUNDAY ナジャ・グランディーバ “自分らしく”生きる

■チケット発売中

ドラッグクイーン界のトップスターとして唯一無二の存在感を発揮する一方、「人と比べない」「誰とも戦わない」というストレスフリーな生き方が多くの人の共感を呼ぶ…「自分らしく生きる」ことの大切さとは?



■会場 / CBCホール (CBC会館内)
■開演 / 14:00
■講演時間 / 各回90分程度 (講演+質疑応答)

年末まで注目公演が目白押しのクラシックコンサート!!

10/7 TUESDAY 東海東京証券 presents シンフォニア・ヴァルソヴィア with イーヴォ・ボゴレリッチ&小林愛実

■チケット発売中

○ピアノ / イーヴォ・ボゴレリッチ、小林愛実 ○管弦楽 / シンフォニア・ヴァルソヴィア ○指揮 / クリスティアン・アルミンク

ポーランドの名門オーケストラと、人気実力派ピアニストたちによるショパンのピアノ協奏曲「第1番」&「第2番」を一夜で聴く贅沢! 第19回ショパン国際ピアノコンクール開催の折、ショパンに親しみ楽しんでいただけの絶好の公演です。

■会場 / 愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演 / 18:45
■料金(税込) / 全席指定 SY20,000 AY17,000 BY14,000 CY10,600(完売) DY8,600(完売)
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥⑦⑧
■Pコード / 294-602 ■Lコード / 41151 ※未就学児入場不可



11/14 FRIDAY ツオトネ・ゼジニゼ ピアノ・リサイタル

■チケット発売中

○曲目 / ベートーヴェンピアノ・ソナタ 第28番 長調 Op.101、ブラームスピアノ・ソナタ 第3番 小短調 Op.5、ゼジニゼ自作曲

世界の名だたる著名指揮者が絶賛する奇才、ピアニストであり作曲家でもあるツオトネ・ゼジニゼが名古屋に15歳でピアノを、6歳で作曲を始め、現在新冠16歳、圧倒的な音楽性で才能を発揮します。ベートーヴェン、ブラームスに並び演奏されるオリジナル作品は聴き逃せません。

■会場 / 電気文化会館ザ・コンサートホール ■開演 / 18:45
■料金(税込) / 全席指定¥6,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 293-357 ■Lコード / 40096 ※未就学児入場不可



12/5 FRIDAY キリル・ゲルシュタイン&藤田真央 ピアノ・デュオ・リサイタル

■チケット発売中

○曲目 / シューベルト創作主題による8つの変奏曲 変イ長調 D813 Op.35、ラヴェル・ラヴァルス、ラマノゾフ 交響的舞曲 Op.45ほか

自由自在に音を操る確かな技術と類い希な音楽性、屈託のないキャラクターで幅広い音楽ファンから愛される藤田真央。今もなお研鑽を続ける藤田の師であり、現在は対等な音楽パートナーとも言えるキリル・ゲルシュタインとのデュオ・リサイタルがついに名古屋に。

■会場 / 愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演 / 18:45
■料金(税込) / 全席指定 SY15,000 AY9,000 BY6,000 U25¥3,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥ ■Pコード / 294-605 ■Lコード / 41153 ※未就学児入場不可



11/13 MONDAY HOLIDAY 辻彩奈と仲間たち ～シューベルトの室内楽～

■チケット発売中

○辻彩奈(ヴァイオリン)、萩原麻未(ピアノ)、安達真理(ヴァイオリン)、横坂源(チェロ)、加藤雄太(コントラバス) ○曲目 / シューベルトピアノ五重奏曲 長調「ます」ほか

人気アーティストが勢揃い! 国際コンクールや海外オーケストラなど、国際的な活躍をしている若き5人の奏者たちによる、ソロあり、デュオあり、トリオあり…最後は5人で奏でる「ます」。極上の音楽で安らぎのひとときを。



■会場 / 東海市芸術劇場大ホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 一般¥4,500 U18(5歳以上入場可) ¥2,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 292-951 ■Lコード / 40093

11/23 SUNDAY HOLIDAY クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル

■チケット発売中

緻密で感性豊かな演奏スタイルと、楽器への深いこだわり……。1975年、ショパン国際ピアノ・コンクールでの鮮烈な優勝をきっかけに、世界最高峰の地位を確立。それから50年の間、常に第一線で活躍を続け、今なお世界中の音楽ファンを魅了してやまないピアニスト、クリスチャン・ツィメルマン。親日家としても知られる彼が、日本の聴衆に捧げるプログラムに期待が高まります。

■会場 / 愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演 / 16:00
■料金(税込) / 全席指定 SY11,000 AY9,000 BY7,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥⑦⑧
■Pコード / 294-604 ■Lコード / 41152 ※未就学児入場不可



12/20 SATURDAY 田所光之マルセル ピアノ・リサイタル

■チケット発売中

日本人の父とフランス人の母をもち、国際色豊かな環境で育まれた感性と、持ち前の探究心により備わった知性。唯一無二の美音を持つ、地元・尾張旭市出身のピアニスト田所光之マルセルが、オール・リストプログラムでクリスマス・シーズンの特別なひとときを彩ります。

■会場 / 電気文化会館ザ・コンサートホール ■開演 / 17:30
■料金(税込) / 全席指定 ¥4,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤⑥
■Pコード / 293-358 ■Lコード / 40097 ※未就学児入場不可



チケット取扱い ①CBCチケットセンター https://www.funity.jp/cbc-ticket/ ②アイチケット https://clanago.com/i-ticket ☎0570-00-5310 ③チケットぴあ https://t.pia.jp ④ローソンチケット https://l.tike.com ⑤イープラス https://eplus.jp

⑥芸文プレイガイド ☎052-972-0430 ⑦名鉄ホールチケットセンター ☎052-561-7755 https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/ ⑧栄プレチケ92 ☎052-953-0777 ⑨Boo-Wooチケット https://l.tike.com/bw-ticket/

メ〜テレ

TEL.052-331-9966 (平日10:00～18:00) 〓お問合せ

https://www.nagoyatv.com/event/ 〓チケット購入OK



26/113 FRIDAY ~15 SUNDAY 舞台 『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』

■10/25(土)～チケット発売

○原作 / 村上春樹 ○演出・振付 / フィリップ・ドック・フレ ○脚本 / 高橋亜子 ○出演 / 藤原竜也、森田望智、宮尾俊太郎、富田望生、駒木根葵汰(Wキャスト)、島村龍乃介(Wキャスト)、藤田ハル、松田慎也/池田成志 ほか



藤原竜也主演で、村上春樹の世界的な代表作を世界初舞台化!

日本を代表する世界的作家・村上春樹が36歳の時に発表され、海外でも人気の高い長編小説「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」が、フィリップ・ドック・フレの演出・振付で世界で初めて舞台化されます。「世界の終り」とハードボイルド・ワンダーランドという異なる二つの世界が並行して描かれるこの作品は、発売から40年を経た今もなお、時代や言語を超えて世界中で愛読され続けています。主演は、日本屈指の実力俳優・藤原竜也。数々の舞台や映像に主演し高い評価を受けている藤原が、満を持して初めて村上春樹作品に挑み、新境地を切り開きます。そして藤原の相手役には今回初めてストレートプレイに挑む森田望智、そのほか宮尾俊太郎、富田望生、駒木根葵汰と島村龍乃介がWキャスト、藤田ハル、松田慎也、池田成志と豪華キャストが出演、さらにフランスを代表する世界的アーティストであるフィリップのダンスやサーカスの要素が融合した演出と振付を表現するために10名のダンサーがさまざまな役を演じます。無意識の選択に翻弄される主人公。二つの物語が問いかけ、生きる意味とは…。フィリップの独創的な演出手法によって、観客は唯一無二の村上ワールドにいざなわれる。才気あふれるクリエイティブチームがおくる、舞台「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド」にぜひご期待ください。

■会場 / 名古屋文理大学文化フォーラム(福沢市民会館)大ホール
■開演 / 2月13日(金)13:30 2月14日(土)12:30、17:30 2月15日(日)12:30
※Wキャストスケジュール [島村龍乃介] 2月13日(金)13:30 2月14日(土)12:30 [駒木根葵汰] 2月14日(土)17:30 2月15日(日)12:30
■料金(税込) / 全席指定 ¥13,000 車いす席 ¥13,000 U-25チケット ¥6,500
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤ ■Pコード / 536-934 ■Lコード / 43699
※未就学児入場不可 ※車いす席、U-25チケットは①(車いす席は電話のみ)にて一般発売より取扱い
※U-25チケットは観劇時25歳以下対象(当日指定席券引換・座席数限定・要本人確認書類)

10/31 FRIDAY ~11/2 SUNDAY ヴォイツェック

■チケット発売中

○原作 / ゲオルク・ビューヒナー ○観劇・ジャック・ソーン ○翻訳 / 高田曜子 ○上演台本・演出 / 小川梨子 ○出演 / 森田剛、伊原六花、伊勢佳世、浜田信也/中上サツキ、須藤誠己、石井舞、片岡蒼哉/富家リリア、栗原英雄

時代を挑発する、ジャック・ソーンのニュー・アダプテーションを小川梨子脚本の演出、森田剛の主演で待望の日本初演が決定!! 舞台「ハリヤー・ポッターと呪いの子」でその名を知られる劇作家のジャック・ソーンの手によって現代にアップデートされた今回の「ヴォイツェック」。過去のトラウマと自身の心の闇と闘いながら生きるヴォイツェックの姿を通じて現代社会の様々な問題を浮き彫りにし、内面的な葛藤に直面する現代人の姿を映し出します。豪華キャストと小川梨子脚本が生み出す重厚感ある新バージョン、どうぞご期待ください。

■会場 / 葵の国とはは芸術劇場PLAT 主ホール
■開演 / 10月31日(金)18:00 11月1日(土)13:00、18:00 11月2日(日)13:00
■料金(税込) / 全席指定 SY11,500 S ¥7,200 AY8,000 AW8,000 U25¥4,000 高校生以下 ¥1,000
■チケット取扱い / 下記①②③④⑤ ■Pコード / 535-869 ■Lコード / 41363
※未就学児入場不可 ※Sペアは、前売のみ・枚数限定
※U25・高校生以下は、一般発売日から⑤にて取扱い
(一入1枚・枚数限定・要本人確認書類)



①メーテック ☎052-308-5630(平日10:00～17:00) https://www.nagoyatv.com/event/ ②チケットぴあ https://t.pia.jp ③ローソンチケット https://l.tike.com ④イープラス https://eplus.jp/ ⑤名鉄ホールチケットセンター ☎052-561-7755(10:00～18:00) https://www.e-meitetsu.com/mds/hall/ ⑥サンデーチケットセンター ☎0532-39-3090 https://toyoshashi-at.jp ⑦名古屋文理大学文化フォーラム(福沢市民会館) ☎0587-24-5111(9:00～21:00) ⑧名古屋文化芸術事業団チケットガイド ☎052-249-9387(平日9:00～17:00) ⑨芸文プレイガイド ☎052-972-0430(10:00～19:00) ⑩栄プレチケ92 ☎052-953-0777(10:00～19:00) ⑪FANYチケット https://ticket.fany.jp/

五十嵐 薫子
ピアノリサイタル
11.15(土) 14:00開演
全席指定 4,500円
電気文化会館 ザ・コンサートホール
J.S.バッハ(ベトリ編): 羊は安らかに草を食む BWV208-9
ショパン: ワルツ 第6番「小犬」変ニ長調 op.64-1
ショパン: ノクターン 第17番 長調 op.62-1
ショパン: ピアノ・ソナタ 第2番「葬送」変ロ長調 op.35
ラヴェル: 「クープランの墓」より
ラヴェル: ラ・ヴァルス

音楽が記憶に変わる瞬間。

ご予約お問合せ 052-678-5310
アイ・チケット 検索

〇チケットぴあ
〇ローソンチケット
〇芸文プレイガイド ほか有名プレイガイド

斎藤 華香
Kako Saito
フルートリサイタル
古田友哉(ピアノ)
11.24(月) 15:00開演
一般 3,500円 学生 2,000円
(当日券4,000円)
熱田文化小劇場
J.S.バッハ
フルートと通奏低音のためのソナタ 長調 BWV1035
P.タファネル
「ミニヨン」の主題によるグランド・ファンタジー
B.マルティネー
ソナタ 第1番 ほか

【主催】矢島聡子事務所

※すべて全席指定・税込 ※未就学児入場不可 ※やむを得ない事情により、公演内容が変更となる場合がございます。その場合もチケットの払戻しは承れません。ご了承ください。 ※車椅子でご来場のお客様は、ご購入前にクラシック名古屋までお問合せください。

長久手市文化の家

TEL.0561-61-3411 <https://bunkanoie.jp>



10/18 SATURDAY 文化の家野外劇場 vol.2 宵祭『KONTON』

入場無料

◎出演／維新派(映像)、吉報、スーパー登山部 KONTON ver.、長久手巫女舞教室、文化の家創造スタッフ ほか ◎演目／維新派「トワイライト」上映、吉報「長久手市文化の家と吉報〜石作神社でたのしく〜」、スーパー登山部の小田智之(Key)、Hina(Vo.)によるライブ、朗読と音楽、マルシェ出店 ほか

鳥居をくぐれば混沌の世界が待っている

長久手市文化の家は、現在天井改修工事のため休館中。それなら、文化や芸術を引っ提げて街へ繰り出そうと始まったのが「文化の家野外劇場」です。第1回は2025年3月に文化の家2階芝生広場に開催され、800人を超えるお客様が来館されました。そして第2回となる今回は、平安時代より長久手の家を見守ってきた石作神社を舞台に、あらゆる文化芸術が集結した文化のお祭りを開催します。2017年に惜しまれながら活動を終了した維新派「トワイライト」の野外スクリーン上映、名古屋と東京の2拠点にて活動する若手3劇団の合同公演「吉報」をはじめ、演劇、大道芸、音楽、ダンス、美術、光の芸術など、世代やジャンルを超えた文化や芸術との出会いが待っています。是非とも混沌の世界を体験しにきてください。

■会場／石作神社
■開演／13:00
■料金／入場無料
※アルコール類持ち込み厳禁です
※夜間は足下が暗くなる可能性があるため、ご注意ください



かすがい市民文化財団

TEL.0568-85-6868 <https://www.kasugai-bunka.jp>



11/24 MONDAY HOLIDAY 令和7年度(公社)全国公立文化施設協会主催 松竹大歌舞伎

チケット発売中

今年の(公社)全国公立文化施設協会主催「松竹大歌舞伎」は中村又五郎を筆頭に、中村昇三、中村種之助、中村種太郎、中村秀乃介と親子三代揃い踏みでの開催となります。山本周五郎原作「泥棒と若殿」では身分の異なる二人が心を通わせながらドラマを紡ぎ、派手やかな舞踊「お祭り」は江戸の風情も感じて頂けます。2つの好作品をお楽しみください。



■会場／春日井市民会館
■開演／13:00
■料金(税込)／全席指定(当日券同額)
SV8,800 AV7,300 BV5,800
U-25(25歳以下、S-A-B席)¥3,000
【学生の持参】小中高生
(S-A-B席、イヤホンガイド付)¥1,000

■チケット取扱い／下記②
※未就学児入場不可、小学生は要保護者同伴

〈関連企画〉

◎10/25(土)10:00〜(開場9:30)「令和7年度 葛西聖司の極付! 歌舞伎セミナー」歌舞伎の楽しみ方・見どころがこれぞわかる!!これを聴かなきゃ松竹大歌舞伎は始まらない!大人気のセミナーが今年もやってくる!
■会場／春日井市民会館 ■料金(税込)／¥600(当日支払い)
※2025年11月24日(月)松竹大歌舞伎後春日井公演のチケットをお持ちの方は、入場無料
(セミナー当日、市民会館入口にて松竹大歌舞伎チケットをご確認ください。チケット1枚につき1名様無料です。)

'26 1/11 SUNDAY OSK日本歌劇団 トップスター 翼 和希 REVUE SHOW!

11/15(土)〜チケット発売

◎出演／翼 和希、千咲えみ、華月奏、羽那舞、紫咲心那、有駒こと、空良玲澄、梅名希歩、終 潮香、美丘さくら、純奈光希

連続テレビ小説「ブギウギ」に出演した翼 和希が春日井市で初公演!

新春を彩る華やかなレビューをお楽しみに。劇団員が指導する子ども向けワークショップも開催。

■OSK日本歌劇団とは／1922(大正11)年に大阪に誕生し、2022年に創立100周年を迎えた。由緒ある大劇場でのグランドレビューやミュージカルなどを上演している。京マチ子をはじめ多くの銀幕スターを輩出し、笠置シズ子子はブギの女王として活躍。その半生が2023〜2024年放送の連続テレビ小説「ブギウギ」でも描かれ、翼和希はじめ多くの劇団員が出演した。



■会場／春日井市民会館
■開演／12:00、15:00 ※15:00公演はトークあり
■料金(税込)／全席指定 一般¥7,000 【学生の持参】小中高生¥1,000
■チケット取扱い／下記②
※未就学児入場不可、小学生は要保護者同伴

可児市文化創造センターala

TEL.0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp>



11/3 MONDAY HOLIDAY 石田組コンサートツアー2025

9/13(土)〜チケット発売

◎出演／「シロヴァイオリン」石田泰尚、佐久間聡一(Vn)、後藤康(Vn)、ビルマン聡平(Vn)、丹羽洋輔(Vn)、隆茂貴雄(Vn)、木下雄介(Va)、鈴村大樹(Va)、古厩聡見(Va)、西谷牧人(Vc)、弘田徹(Vc)、大宮理人(Vc)、米長幸一(Cb)

石田泰尚率いる話題の弦楽合奏団岐阜県初登場!

実力と人気の高さと、日本武道館公演でも満員の観客を熱狂させた、石田泰尚が率いる精鋭アンサンブル「石田組」。クラシック音楽から映画音楽、ロックまで多岐にわたる演奏をお楽しみください。

■曲目／チャイコフスキー「弦楽セレナード」ハ長調 op.48、ピアソラ(近藤和明 編曲)「リベルタンゴ」、クイーン(松岡あさひ 編曲)「ボヘミアン・ラプソディー」



■会場／可児市文化創造センターala 主劇場
■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定¥6,000 25才以下¥3,000
■チケット取扱い／下記②
※未就学児入場不可

11/29 SATURDAY 11/30 SUNDAY シリーズ恋文 vol.15

9/13(土)〜チケット発売

◎構成・演出／ラサール石井 ◎出演／中村雅俊、真野響子 ◎ピアノ／黒木由希

心に響く「恋文」を俳優による朗読とピアノの即興演奏で紡ぐ、オリジナル企画

秋田県ニッ井町(現・現代市ニッ井町)で開催されていた「日本一心のこもった恋文コンテスト」の受賞作を集めた書籍から、いくつかの手紙を選択して台本を構成し、二人の俳優の語りで観る舞台です。今回は、熱い声援に答えて、中村雅俊と真野響子の豪華ペアが2023年につづいてアーに再登場です。



■会場／可児市文化創造センターala 小劇場
■開演／各日14:00
■料金(税込)／全席指定¥4,000 25才以下¥2,000
■チケット取扱い／下記②
※未就学児入場不可

三重県文化会館

TEL.059-233-1122 <https://www.center-mie.or.jp/bunka/>



©エムズネット

11/3 MONDAY HOLIDAY 指揮 松本宗利 音 ピアノ 仲道郁代 新日本フィルハーモニー交響楽団

チケット発売中

◎指揮／松本宗利 ◎ピアノ／仲道郁代 ◎管弦楽／新日本フィルハーモニー交響楽団 ◎曲目／グリーグ「ペールギュント」組曲より「朝」、ピアノ協奏曲 イ短調 Op.16、ブラームス「交響曲 第1番」ハ短調 Op.68

当館と新日本フィルは地域拠点契約を結び、年2本の定期公演を開催しています。今年度2本目は、大活躍中の若手・松本宗利音を指揮に迎えます。前半は、ベテラン・仲道郁代のソロで、グリーグ作品の中でも「ペールギュント」と並んで人気のある「ピアノ協奏曲」。後半はオーケストラの定番で、名曲と称されるブラームス「交響曲第1番」と、大変聴きごたえのあるプログラムをお届けいたします。



■会場／三重県文化会館 大ホール ■開演／16:00
■料金(税込)／全席指定 ¥45,000 AY4,000 BV3,000 ※30歳以下全席半額
■チケット取扱い／下記①③④⑤ ■PCコード／302-718 ■Lコード／41665
※未就学児入場不可

愛知室内オーケストラ (ACO)

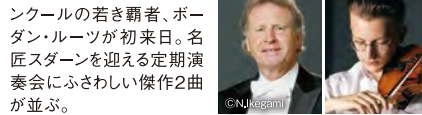
TEL.052-211-9895 <https://ac-orchestra.com>



11/7 FRIDAY 第92回定期演奏会

チケット発売中

◎指揮／ユベール・スターン ◎ヴァイオリン／ボダナ・ループ ◎曲目／シベリウス「ヴァイオリン協奏曲」ほか

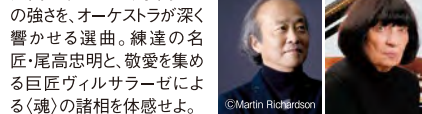


■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:45
■料金(税込)／全席指定 ¥45,000 AY4,000 BV3,000 CV2,000
■チケット取扱い／下記②③④⑤ ■PCコード／300-100 ※未就学児入場不可

11/24 MONDAY HOLIDAY 第93回定期演奏会

チケット発売中

◎指揮／長瀬史明 ◎ピアノ／エリノ・ヴァルサーゼ ◎曲目／ベートーヴェン「ピアノ協奏曲 第3番」ほか



■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／14:00
■料金(税込)／全席指定 一般¥5,000 U25券¥1,000 小中学生券¥500
■チケット取扱い／下記②③④⑤ ■PCコード／300-102
※未就学児入場不可

11/13 THURSDAY ザ・レジェンド アンサンブルシリーズ 第5回

チケット発売中

◎ヴァイオリン・ヴァイオリン／川本薫子 ◎ヴァイオリン／堀 正文 ◎チェンバロ／中野剛一郎 ◎曲目／J.S.バハ「ブランデンブルク協奏曲(全曲)」



素晴らしい名匠たちによる、ブランデンブルク協奏曲全曲演奏会

各曲で活躍するソリストたちが磨き抜かれた名手でないとなりたず、なかなか生演奏で聴けない作品、生けるレジェンドたちによるバハの傑作「ブランデンブルク協奏曲」の全曲演奏会が実現。

■会場／電気文化会館 ザ・コンサートホール ■開演／18:30
■料金(税込)／全席指定 一般¥4,000 U25券¥1,000 小中学生券¥500
■チケット取扱い／下記②③④⑤ ■PCコード／300-105
※未就学児入場不可

11/22 SATURDAY 人形浄瑠璃 文楽

チケット発売中

◎太夫／豊竹若太夫、竹本銀太夫 ◎三味線／鶴澤清治(人間国宝) ◎人形／桐竹勘十郎(人間国宝)

「人形浄瑠璃 文楽」とは物語を語る「太夫」、情景を音で表現する「三味線」、一体の人形を三人で演ずる「人形」。この「三業」が一つとなり、舞台から客席へ感動をお届けする我が国の代表的な古典芸能です。ユネスコ無形文化遺産にも登録されている、日本が誇る伝統芸能「人形浄瑠璃 文楽」をお楽しみください。初めての方にもお楽しみいただける字幕付き公演です。

■演目／[昼の部]義経千本桜「道行初音旅」、新版歌祭文
[夜の部]曾根崎心中



■会場／三重県文化会館 中ホール
■開演／[昼の部]13:00
[夜の部]17:00
■料金(税込)／全席指定 ¥43,500 AY2,500 [観覧席]SV6,000 AY4,000
■チケット取扱い／下記①③④⑤
■PCコード／535-974
■Lコード／45504
※未就学児入場不可
※通し券は①のみ取扱い

セントラル愛知交響楽団

TEL.052-581-3851 <https://www.caso.jp>



10/18 SATURDAY 超! 有名曲シリーズ Vol.12

チケット発売中

◎出演／松尾葉子、吉田文 ◎曲目／サン・サーンス「交響曲 第3番」ハ短調 Op.78、R.176「オルガン付」ほか



■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 ¥45,000〜CV2,000
※S、Aはお得なペア席あり ※U25各席半額(入場時要証明書)
■チケット取扱い／下記③④⑤ ■PCコード／287-413 ※未就学児入場不可

12/18 THURSDAY 市民合唱団による 悠久の第九

チケット発売中

◎出演／角田鋼亮、清江夏子、山田由紀、城定家、伊藤貴之 ほか ◎曲目／ベートーヴェン「交響曲 第9番」C大調 Op.125(合唱付)ほか



■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／18:30
■料金(税込)／全席指定 ¥6,000〜CV3,000
※U25各席半額(入場時要証明書)
■チケット取扱い／下記③④⑤ ■PCコード／302-352 ※未就学児入場不可

11/8 SATURDAY 第214回定期演奏会 「アメリカのロマン主義」

チケット発売中

◎指揮／角田鋼亮 ◎ピアノ／ニコライ・スネツコフ ◎曲目／ラフマニノフ「ピアノ協奏曲 第3番」三短調 Op.30、バーンスタイン「交響曲のためのアダージョ」Op.11 ほか



2025年度は「ロマンティック・セントラル」をテーマに情盛かな作品を集結。第214回は角田鋼亮と旅するアメリカ。ラフマニノフ「協奏曲 第3番」に登場するニコライ・スネツコフは、国際コンクール優勝者だけがエントリーできる「モンテカルロ・ピアノ・マスターズ」|2021優勝に輝くロシアの俊英。誇り立くような旋律が印象的な「バーバー」新ロマン派ハンソンの代表作「ロマンティック」は演奏機会も少なく一聴の価値あり。

■会場／愛知県芸術劇場コンサートホール ■開演／14:30
■料金(税込)／全席指定 ¥7,000〜CV2,000
※U25各席半額(入場時要証明書)
■チケット取扱い／下記③④⑤ ■PCコード／287-382 ※未就学児入場不可

①三重県文化会館チケットカウンター ☎059-233-1122 <https://www.center-mie.or.jp/bunka/> ②愛知室内オーケストラ <https://ac-orchestra.com> ③セントラル愛知交響楽団 <https://www.caso.jp> ④チケットぴあ <https://lpia.jp> ⑤ローソンチケット <https://l-tike.com> ⑥イープラス <https://eplus.jp> ⑦芸文プレイガイド ☎052-972-0430 ⑧アイチケット ☎0570-00-5310 <https://clanago.com/ticket> ⑨エムズネット <https://p-ticket.jp/center-mie/>

柴咲コウ KO SHIBASAKI LIVE TOUR 2025 ACTOR'S THE BEST ~邂逅~

一昨年、昨年と各地で好評を博した柴咲コウのライブツアー「KO SHIBASAKI LIVE TOUR ACTOR'S THE BEST」が今年も開催決定! 柴咲コウオリジナル曲、そしてドラマ・映画の主題歌や挿入歌を独自の表現によって披露します。俳優とアーティストの両面をもち、柴咲コウならではの魅力溢れる空間をぜひご体感ください。

好評発売中(残席僅か)

チケット ¥9,500 [全席指定・税込]
※未就学児入場不可
プレイガイドさぶ 058-257-1625 (平日10:00〜16:00)

11.7(金) 開場18:00/開演18:30
会場：ぎふしんフォーラム (岐阜市民会館)

主催：Les Trois Graces / 岐阜新聞社 / 岐阜放送 / ジーコー・ボレーション
お問合せ：プレイガイドさぶ 058-257-1625 (平日10:00〜16:00)
ジーコー・ボレーション 052-661-1514 (平日10:00〜18:00)

演じるだけじゃ終わらない。—— 歌で紡ぐ、新たなステージ

カキコツハルカ LIVE 2026



2026. 1.31(土) 開場16:30/開演17:00
チケット：一般 8,000円 [全席指定・税込]

アートフレンド会員先行予約 2025.9.26(金) 9:00〜
※オンラインチケットサービス及びごまき市民文化財団へ車椅子席がございます。詳細はお問合せください。
※先行予約、割引はおひとりさま2枚までとなります。

会場：小牧市市民会館大ホール
主催／お問合せ：ごまき市民文化財団 0568-71-9700
事業グループ 事業担当(9:00〜17:00) ※月曜定休
企画制作：ホリプロ 制作協力：ジーコー・ボレーション

チケット発売日

一般発売(オンラインチケットサービス及びチケット取り扱い施設)
2025.10.3(金) 9:30〜
※10.4(土)以降 9:00〜17:00(まなび創造館は9:30から)
※各施設では、月曜日にチケット取り扱いを承っております。

チケット取扱い ①長久手市文化の家 ☎0561-61-2888(チケット専用) <https://bunkanoie.jp> ②かすがい市民文化財団 ☎0568-85-6868 <https://www.kasugai-bunka.jp> ③可児市文化創造センターala インフォメーション ☎0574-60-3050 <https://www.kpac.or.jp> ④チケットぴあ <https://lpia.jp> ⑤ローソンチケット <https://l-tike.com> ⑥イープラス <https://eplus.jp>

豊田市コンサートホール・能楽堂

TEL.0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/>

11/12
WEDNESDAY

かーくラシック! お昼のコンサート
第66回 葵トリオ

チケット発売中

◎出演 / 葵トリオ [秋元孝一(ピアノ), 小川響子(ヴァイオリン), 伊東裕(チェロ)]



日本人団体としてミューベン国際音楽コンクールのピアノ三重奏部門で初優勝を果たし、今最も注目を集める「葵トリオ」が豊田市コンサートホールに初登場! ベートーヴェンからショスタコーヴィチまで、ピアノ三重奏の魅力を世界最高峰の生音でお楽しみいただけます。人気絶頂トリオの現在地を堪能しよう!

■曲目 / エルガー・挨拶の授、ベートーヴェンピアノ三重奏曲第4番 変ロ長調 op.11「街の歌」第3楽章、ショスタコーヴィチピアノ三重奏曲 第1番 ♯短調 op.8ほか

■会場 / 豊田市コンサートホール ■開演 / 11:30
■料金(税込) / 全席自由 ¥500 ■チケット取扱い / 下記①
※4歳から入場いただけます

26/10
TUESDAY

かーくラシック! お昼のコンサート
第67回 バスカリネットに聴く
名曲コンサート in 能楽堂

チケット発売中

◎出演 / 東京セレーナバスカリネットアンサンブル[木炭] [吉川裕彦、篠塚奈々、笹間剛太、渡邊一樹、池田めぐみ]



バスカリネットのソロ、アンサンブル楽器としての魅力と可能性を追求するため、東京セレーナバスカリネットオーケストラのメンバーで結成された「木炭」。普段は“緑”の下力持ち“な印象のあるバスカリネット、その独特で温かみのある低音の魅力をとっぴりお届けします。全国各地でリピーター続出!! 魅力を超えたオリジナルアレンジにもご注目。

■曲目 / マスカーニカヴァレリアルスカイナマリ 開奏曲、ピアソラ:デカリッシモ、ショパン:革命のエチュード、久石譲「紅の豚」よりほか

■会場 / 豊田市民楽堂 ■開演 / 11:30
■料金(税込) / 全席自由 ¥500 ■チケット取扱い / 下記①
※4歳から入場いただけます

岡崎市シビックセンター

TEL.0564-72-5111 www.civic.okazaki.aichi.jp/

会場:岡崎市せきれいホール ※会場のお迎えにご注意ください
アンサンブル天下統一 2025

チケット発売中

◎演出 / ドホナーニ:弦楽三重奏のためのセレナード Ⅱ長調 Op.10、ヴェルディ:弦楽三重奏曲短調 Op.6、ベートーヴェン:弦楽三重奏のためのセレナード Ⅱ長調 Op.8

日本最高のプレーヤーによる
弦楽三重奏の頂点

4月にリリースされたCD収録作品を含む、弦楽三重奏の名作をお贈りします。結成から13年の時を重ねて磨かれた音色の調和と響きが続く、弦楽三重奏の真髄をご堪能ください。

■会場 / 岡崎市せきれいホール ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 全席指定 SW ¥3,500 学生 ¥2,000
■チケット取扱い / 下記③
※未就学児入場不可

■アンサンブル天下統一 / 長原幸太(ヴァイオリン/NHK交響楽団第1コンサートマスター)、鈴木康浩(ヴァイオリン/読売日本交響楽団ソロ・ヴィオラ奏者)、中木健二(チェロ/東京藝術大学音楽学部准教授)

岡崎市シビックセンターを拠点に活動するレジデント・アンサンブル「岡崎発信で音楽の素晴らしさを天に伝えるを」をモットーに掲げ、2013年結成以降、年1回の定期公演のみならず、室内楽に特化したアカデミー・実施など後進の育成にも積極的に取り組んでいる。



亀山市文化会館大ホール

TEL.0595-82-7111 <http://kameyama-bunkakaikan.com/>

11/3
MONDAY HOLIDAY

かめやま 歌の祭典

チケット発売中

◎出演 / 徳永ゆうき、二見真一、青山新、結城さおり



歌番組のみならず、舞台、バラエティ番組でも活躍中、徳永ゆうき。音楽サバイバル番組「現役歌王JAPAN」で話題、「演歌第七世代」民謡出身のやまびこボイス、二見真一。爽やかなルックスと磨き抜かれた歌唱力で多くのメディアで活躍中、今注目の「演歌第七世代」、青山新。三重県津市出身、新曲「七色花」が好調、結城さおりが亀山市文化会館大ホールに集結!

■会場 / 亀山市文化会館大ホール ■開演 / 12:30、16:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥5,000 ■チケット取扱い / 下記③④⑤
■コード / 298-456 ■コード / 42419
※未就学児入場不可

チケット取扱い ①豊田市コンサートホール・能楽堂事務局 ☎0565-35-8200 <https://www.t-cn.gr.jp/> ②武豊町民会館(ゆめたろうプラザ) ☎0569-74-1211 ③岡崎市せきれいホール ☎0564-25-0511 ④四日市文化会館 ☎059-354-4501 <https://yonbun.com/> ⑤亀山市文化会館 ☎0595-82-7111 ⑥チケットぴあ <https://tpia.jp> ⑦ローソンチケット <https://lkticket.com/> ⑧イープラス <https://eplus.jp> ⑨岡崎市シビックセンター ☎0564-72-5111 <https://www.civic.okazaki.aichi.jp/>

ゆめたろうプラザ (武豊町民会館)

TEL.0569-74-1211 <https://yumetarou-kaikan.net/>

ラストラダカンパニー
サーカスの灯

チケット発売中

◎出演 / Chang(チャン)、LONTO(ロント)

真っ白な和紙のサーカステントに言葉を使わない2人の道化師が躍る舞台は、まるでおと話のように想像力をかき立てます。国内外で数々の受賞をしている実力派コンビ、Chang(チャン)、LONTO(ロント)が子どもだけでなく大人にも伝えた作品です。言葉を使わないノンバーバルな舞台です。

言葉を使わないノンバーバルな舞台です。



■会場 / ゆめたろうプラザ(武豊町民会館) 稽古ホール舞台上
■開演 / 11:00、14:30
■料金(税込) / 全席自由
一般 ¥2,300 (当日 ¥2,800)
学生 ¥2,000 (当日 ¥2,800)
子ども(3歳〜中学生) ¥1,000 (当日 ¥1,500)

■チケット取扱い / 下記①
◎前席で完売の場合は当日席はございません
※大人1名につき、2歳以下のお子様1名のみ上座無料(要予約等)
お席が必要な場合はチケットをご購入ください

四日市市文化会館

TEL.059-354-4501 <https://yonbun.com/>

10/26
SUNDAY

老いのプレーパーク in 四日市
ワークショップオーディション
[出演者募集中]

9/30(土)申込締切



「よりよく生きるヒントは、遊びの中にある。」をモットーに、俳優・介護福祉士の菅原直樹さんと三重県内の公募メンバーで活動している劇団「老いのプレーパーク」。2026年3月の出張演劇公演(四日市)に出演してくれるメンバーを募集します。若者がシニアまで、老いや介護に関心のある皆さん舞台の上でアナタの人生経験を活かしてみませんか?

■会場 / 三英文化会館 観望室 ■時間 / 13:30~16:30
■開演 / 13:30~15:00 ②16:30~18:30
■料金(税込) / 参加料 ¥1,000(テキスト代含む)
※応募条件などはホームページでご確認ください
<https://yonbun.com/event/2913/>

11/9
SUNDAY

宮沢賢治「銀河鉄道の夜」
知って楽しむワークショップ

10/30(土)申込締切



多くの方に広く知られる古典や、世を越えて読み継がれる名作を取り上げ、アーティスト・市民の皆さんと一緒に舞台を作り上げるプロジェクトがスタート! 取り上げるのは、宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」。これから2年かけて、リーディング公演、そして劇場公演へと進んでいきます。その第一歩として、作品の世界を知り、声に出してみたり、カラダを動かしてみるワークショップを開催。ジョバンニとカムパネルラが駆け巡る銀河の世界を体験してみませんか?

■会場 / 三英文化会館 観望室 ■時間 / 13:30~16:30
■開演 / 13:30~15:00 ②16:30~18:30
■料金(税込) / 参加料 ¥1,000(テキスト代含む)
※応募条件などはホームページでご確認ください
<https://mihama-culture.com/news/3179/>

REPORT 落語や歌舞伎を盛り込んだ舞踊劇に食事や土産も充実の欲張りイベント 「2025名古屋をどりNEO傾奇者」会見レポート

日本舞踊の一大流派、西川流による「名古屋をどり」が岡谷銅機名古屋公会堂全館を使って2日にわたって開催される。リニエール4年目を迎えた今回は同じ伝統芸能である(落語)を題材にした新作NEO舞踊劇「元禄おんな忠臣蔵」が目玉。落語家の榎花栞花が語り部で出演し、本業の落語も披露する。他にフィギュアスケーターの高橋大輔が大河主役役で、声優の梶裕貴が声の出演という形で特別出演。さらに映画監督の堤幸彦が演出協力に加わるという強力布陣になっている。7月の製作発表では西川千雅家元をはじめ主要キャストが登壇。堤、高、梶はビデオメッセージを寄せた。

堤:私は西川千雅先生と映像を手がける浮田奈生子さんの活動を支持しておりまして、名古屋をどりNEOにも毎回、何らかの形で参加し、楽しませていただいております。伝統と現代のアート、エンタテインメントを融合した名古屋をどりをぜひご期待ください。

榎:朗読劇で初めて堤監督とご一緒させていただいて以来、公私ともにお世話になっております。今回は日本の伝統芸能に新しい風を巻き起こすような表現になろうかと思っており、あらすじを拝見しましたがさすがにとてもワクワクしております。

高橋:今すごく大変なことにチャレンジしたいと考えていた中でお話をいただき、新たな自分を見つづけることができるのではないかと思います。こんな世界を作り上げてお見せできるのか、ワクワクしながら全力で頑張ります。

第1部は次世代を担う小中学生の「舞踊」、名古屋・安城・岐阜・金沢の若狭越舞舞台 常盤津(集合船倉万歳)、そして榎花の落語へと続く。榎花は前座・春風亭小朝から受け継いだ「元禄おんな忠臣蔵」を口演。休憩を挟んで第2部では「元禄おんな忠臣蔵」上演される。

第1部は次世代を担う小中学生の「舞踊」、名古屋・安城・岐阜・金沢の若狭越舞舞台 常盤津(集合船倉万歳)、そして榎花の落語へと続く。榎花は前座・春風亭小朝から受け継いだ「元禄おんな忠臣蔵」を口演。休憩を挟んで第2部では「元禄おんな忠臣蔵」上演される。



主役を待っている小春という遊女を私が務めます。なお、榎花さんには踊りに対して挑戦していただくと考えております。

榎花:「元禄おんな忠臣蔵」は私の師匠・小朝がずっとやってきた新作落語です。それを家元が後日談という形でNEO舞踊劇にしてくださいました。落語ではいつも下半身を固定してしゃべっておりますので(笑)、それを解放できるのかと、ただ、踊子に乗って踊りもやりたいと言っていて、軽く後悔しております(苦笑)。

他に「お血脈」「地獄八景蔵」「芝浜」といった落語や歌舞伎「冥途の飛脚」の要素なども織り込まれたユニークな物語。「冥途の飛脚」の主人公、遊女・梅川をBOYS AND MENの本田剛文、恋人・兵衛をOSK日本歌劇団の華月奏が演じる男女逆転の趣向も面白い。

©Interview&Text / 小島祐未子

10/11 SATURDAY・12 SUNDAY [チケット発売中]
「名古屋をどりNEO傾奇者」

■会場 / 岡谷銅機名古屋公会堂 大ホール
■開演 / 11:00、17:00
■料金(税込) / SS(1階) ¥11,000 S(1-2階) ¥8,800 A(3階) ¥5,500
■お問合せ / 日本舞踊 西川流 TEL.052-831-7106

SPECIAL INTERVIEW 02 石田泰尚 Yasunao Ishida

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団のソロ・コンサートマスターを務める実力派ヴァイオリニスト・石田泰尚が率いる話題の弦楽合奏団「石田組」。情熱的かつ表現豊かなアンサンブルの秘技に迫る。

— 情熱的かつ表現豊かな演奏で楽しませてくれる石田組。プログラムにはクラシック音楽のみならず、映画音楽やロック、ミュージカルの名曲など、幅広いジャンルの音楽が盛り込まれます。

石田:プログラミングに関しては石田組発足以来変わらず、「いろんなジャンルをやるう」という方針を継続しています。ですから、例えばクラシック音楽は硬いイメージがあって苦手という方にも楽しんでいただける曲に、曲にも「リ」が生まれますので、僕たちの演奏を聴いていただけたら、馴染みのないジャンルの音楽も好きになっていただけると思います。

石田:子どもから高齢者まで、幅広い層の方々に聴いていただき、音楽を楽しんでいただきたいと思います。

— 石田組といは自由度の高いアンサンブルの中にも一体感が感じられる演奏が印象的なのですが、この雰囲気はどのように作られるのでしょうか?

西谷:やはり石田さんの存在そのものが大きく影響していると思います。石田さんが一言囁くとその場の空気が一変するんですね。そして、その音に込められた想いをメンバー全員が感じ取って、それに向かって心を一つにしていくなです。それが石田組特有の一体感に繋がるのだと思います。

石田:基本的に、メンバーには各自自由に弾いてほしいと思っているので、リハーサルでも特に細かいことは言わないんです。決まってる最低限に留めて、もし仮に本番でそれぞれの方性のバリエーションになってしまったとしても、「彼が何とかするから」という感じです。勝手に弾いてほしいですね。

西谷:その「何とかするから!」の対応力が尋常ではないんですよ。その安心感から、「石田さんについていこう」という気風が高まって、メンバー全員がひとつにまとまってくるのだと思います。

— これまで各地でたくさんの公演を行っていますが、特に印象に残っている公演は?

石田:もちろんそれぞれの公演に思い出がありますが、やはり昨年11月に行った武道館は別格で、クラシック側の私たちにとっても、8,300人ものお客さんの前で演奏するというのは特別な経験でした。それだけの人数になりますと、お客さんの盛り上がりも格別で、今も強く印象に残っています。

西谷:そうですね。全てが新進でした。でも面白いのは、それだけ僕たちにとって非日常的な公演だったにも関わらず、メンバー全員が驚くほど変わらないうちに通りだったことです。どんな公演であっても、石田組のスタイルは変わらない、という象徴的な出来事だったようにも思います。

— 可児文化創造センターala 主劇場での公演は、石田組にとって岐阜県初の公演となります!

石田:僕たちはいつも全力です! まずは会場に来ていただいて、生で石田組の演奏を聴いていただきたいですね。おじいちゃんにも、おばちゃんにも、ぜひお聴きいただきたいです。僕たちを応援してくださっているファンの方々の中には、各地の公演に脚を運んでく

ださる方もいらっしゃるのですが、初回公演です。まずは一人でも多くの地元の方々に聴いていただけたら嬉しいですね。

©Interview&Text / 向後由美 ©Photo / 三友敬也

11/3 MONDAY-HOLIDAY [チケット発売中]
「石田組コンサートツアー2025」

■会場 / 可児市文化創造センター-ala 主劇場 ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥6,000 25歳以下 ¥3,000
■お問合せ / 可児市文化創造センター チケットイン・フレイション TEL.0574-60-3050(9:00~19:00火曜日休番)



SPECIAL INTERVIEW 03 務川慧悟 Keigo Mukawa

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

神奈川フィルハーモニー管弦楽団のソロ・コンサートマスターを務める実力派ヴァイオリニスト・石田泰尚が率いる話題の弦楽合奏団「石田組」。情熱的かつ表現豊かなアンサンブルの秘技に迫る。

— 情熱的かつ表現豊かな演奏で楽しませてくれる石田組。プログラムにはクラシック音楽のみならず、映画音楽やロック、ミュージカルの名曲など、幅広いジャンルの音楽が盛り込まれます。

石田:プログラミングに関しては石田組発足以来変わらず、「いろんなジャンルをやるう」という方針を継続しています。ですから、例えばクラシック音楽は硬いイメージがあって苦手という方にも楽しんでいただける曲に、曲にも「リ」が生まれますので、僕たちの演奏を聴いていただけたら、馴染みのないジャンルの音楽も好きになっていただけると思います。

石田:子どもから高齢者まで、幅広い層の方々に聴いていただき、音楽を楽しんでいただきたいと思います。

— 石田組といは自由度の高いアンサンブルの中にも一体感が感じられる演奏が印象的なのですが、この雰囲気はどのように作られるのでしょうか?

西谷:やはり石田さんの存在そのものが大きく影響していると思います。石田さんが一言囁くとその場の空気が一変するんですね。そして、その音に込められた想いをメンバー全員が感じ取って、それに向かって心を一つにしていくなです。それが石田組特有の一体感に繋がるのだと思います。

石田:基本的に、メンバーには各自自由に弾いてほしいと思っているので、リハーサルでも特に細かいことは言わないんです。決まってる最低限に留めて、もし仮に本番でそれぞれの方性のバリエーションになってしまったとしても、「彼が何とかするから」という感じです。勝手に弾いてほしいですね。

西谷:その「何とかするから!」の対応力が尋常ではないんですよ。その安心感から、「石田さんについていこう」という気風が高まって、メンバー全員がひとつにまとまってくるのだと思います。

— これまで各地でたくさんの公演を行っていますが、特に印象に残っている公演は?

石田:もちろんそれぞれの公演に思い出がありますが、やはり昨年11月に行った武道館は別格で、クラシック側の私たちにとっても、8,300人ものお客さんの前で演奏するというのは特別な経験でした。それだけの人数になりますと、お客さんの盛り上がりも格別で、今も強く印象に残っています。

西谷:そうですね。全てが新進でした。でも面白いのは、それだけ僕たちにとって非日常的な公演だったにも関わらず、メンバー全員が驚くほど変わらないうちに通りだったことです。どんな公演であっても、石田組のスタイルは変わらない、という象徴的な出来事だったようにも思います。

— 可児文化創造センターala 主劇場での公演は、石田組にとって岐阜県初の公演となります!

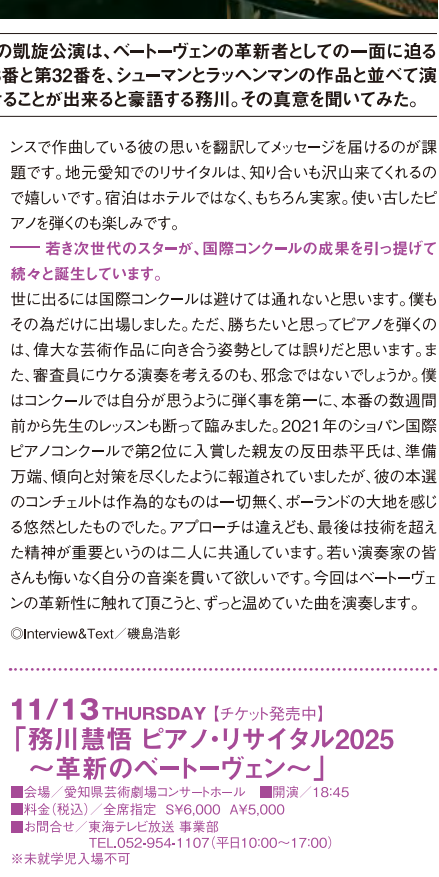
石田:僕たちはいつも全力です! まずは会場に来ていただいて、生で石田組の演奏を聴いていただきたいですね。おじいちゃんにも、おばちゃんにも、ぜひお聴きいただきたいです。僕たちを応援してくださっているファンの方々の中には、各地の公演に脚を運んでく

ださる方もいらっしゃるのですが、初回公演です。まずは一人でも多くの地元の方々に聴いていただけたら嬉しいですね。

©Interview&Text / 向後由美 ©Photo / 三友敬也

11/3 MONDAY-HOLIDAY [チケット発売中]
「石田組コンサートツアー2025」

■会場 / 可児市文化創造センター-ala 主劇場 ■開演 / 14:00
■料金(税込) / 全席指定 ¥6,000 25歳以下 ¥3,000
■お問合せ / 可児市文化創造センター チケットイン・フレイション TEL.0574-60-3050(9:00~19:00火曜日休番)



SPECIAL INTERVIEW 05 齋藤華香 Kako Saito

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)



©Ayano Shindo

道を感じ取り、びたりと合わせてくれる素晴らしい演奏家です。また、古田さんの奏でるピアノの音色は包み込むように交わり、私の奏でるフルートの音色を引き出してくださいます。今回の会場である熱田文化小劇場は残響の豊かなホールですので、響きを存分に味わっていただければと思います。客席の皆さまと一緒に音楽を楽しめる時間になることを、心から願っています。

©Interview&Text / 向後由美

11/24 MONDAY-HOLIDAY [チケット発売中]
「齋藤華香 フルードリサイタル」

■会場 / 熱田文化小劇場 ■開演 / 15:00
■料金(税込) / 一般 ¥3,500(当席 ¥4,000) 学生 ¥2,000
■お問合せ / クラシック名古屋 TEL.052-678-5310

SPECIAL INTERVIEW 04 田中彩子 Ayako Tanaka

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

「石田組」がついに岐阜県に! 石田泰尚(Vn)×西谷牧人(Vc)

ISESHIMA JAZZ FESTIVAL 2025

Presents an evening with

KYLE EASTWOOD QUINTET

- Live & Dinner -

志摩観光ホテル 真珠の間

517-0502 三重県志摩市阿児町神明731(賢島)

DRINK BAR OPEN 15:30
START 16:00
CLOSED 17:30
DINNER 17:45

10.22 (Wed)

Live&Dinner w/Drink 48,000円

Live S席 12,000円

Live 一般席 9,000円

※ドリンクバー別途 3,000円 デイナー会場は演奏後ラ・メール ザ クラシックにて



KYLE EASTWOOD カイル・イーストウッド (b)

1968年5月19日生まれ、米カリフォルニア・カーメル育ち。幼い頃から大のジャズ好きとして知られる実父の俳優／監督であるクリント・イーストウッドに連れられ、モンタレー・ジャズ・フェスティバルや地元のジャズクラブに通う日々を送り、カウント・ペイシーやマイルス・デイヴィスといったジャズ・レジェンドの音楽に親しむ。高校時代からベースを始め、フュージョン・ベースの巨匠バニー・ブルネルに師事。ロサンゼルスやニューヨークで演奏活動を展開し、1998年に『フロム・ゼア・トゥ・ヒア』でデビュー。プレイヤーとして人気を博すいっぽう、映画音楽の分野でも才能を発揮し、『ミスティック・リバー』『ミリオンダラー・ベイビー』『硫黄島からの手紙』など、父の監督作のサウンドトラックを多数手掛け、『グラン・トリノ』(2008年)では、ゴールデングローブ賞最優秀主題歌賞にノミネートされるなど、コンポーザーとしても高評価を獲得。近作『イーストウッド・シンフォニック』では、イーストウッド作品のメインテーマをシンフォニック・アレンジし、チェコ・ナショナル交響楽団と録音するなど、キャリアを重ねた現在も挑戦を続け、端正で豊かな演奏スタイルは世界中のオーディエンスを魅了している。

<https://kyleeastwood.com/>
<https://www.facebook.com/kyle.eastwood.90>
<https://x.com/kyleeastwood>
<https://www.instagram.com/kyleeastwood/>
<https://www.youtube.com/@kyleeastwood7893>



Andrew McCormack (p.key)

2005年の作品『テレスコープ』が評判を呼び、翌年のBBCジャズ・アワードで新人賞を受賞。自身のピアノ・トリオ、サックス奏者ジェイソン・ヤードとのデュオ、ロンドン交響楽団への楽曲提供など精力的な活動続け、カイル・イーストウッドとのコンビネーションも十年を超える。



Quentin Collins (tp)

UKの音楽雑誌「モジヨ」に“リー・モーガンやフレディ・ハバードの現代版”と紹介された正統派モダン・ジャズ・トランペッターでありながら、プリンス、ジェフ・ベック、ロイ・エアーズ、アリシア・キーズ等との共演もこなす広い視野の持ち主。後進の育成にも情熱を注いでいる。



Brandon Allen (sax)

2000年にオーストラリアからロンドンに拠点を移し、同地のジャズ界のファースト・コールになるとともに、エリック・クラプトン、ミーシャ・パリ等とも共演。「ジャズワイズ」誌に“ブルースの伝統に深く根ざした今日のUKで最もエキサイティングなテナー奏者”と紹介された。



Chris Higginbottom (ds)

ロンドンの名門・王立音楽アカデミーを経て、ヴァン・モリソン、マーク・マーフィー、シェイマス・ブレイク等の大物ミュージシャンをサポート。カイル・イーストウッドとは十数年にわたって共演を続けている。“UKの音楽シーンで最も引く手あまたのドラマー”との声も高い。

CNプレイガイド: 0570-08-9999 (営業時間10:00~18:00)

チケットぴあ: <https://w.pia.jp/t/ijf/>

イープラス: <https://eplus.jp/ijf/>



お申込はこちら

宿泊付 日帰りツアープラン

クラブツーリズム名古屋テーマ旅行センター 052-300-0011

お問い合わせ先: H&M Company(株) iseshimajazz@gmail.com



BLUE NOTE JAPAN

